會　報

第33号

滋賀県レイカディア大学同窓会

滋賀県レイカディア大学校歌

レイカディア讃歌

（高城　修三　作詞）

一、
近江の最中（もなか）　青き（あお）海（うみ）
さざなみ寄（よ）せる軽（かろ）き音（おと）
いつまでも尽（つ）きることなき
その思（おも）い　ともに学（まな）ばん
さわやかに　レイカディア
レイカディア
わがレイカディア

二、
青垣（あおかき）つらね鈴鹿比良（すずかひら）
峰（みね）にたわむる白鳥（しらとり）の
いつまでも果（は）つることなき
歓（よろこ）びを　ともに遊（あそ）ばん
うるわしく　レイカディア
レイカディア
わがレイカディア

三、
淡海（あわうみ）映（うつ）す蒼（あお）き空（そら）
宇宙（うちゅう）が見（み）せる深（ふか）き貌（かお）
いつまでも消（き）ゆることなき
その真実（まこと）　ともに生きなん
かぎりなく　レイカディア
レイカディア
わがレイカディア

滋賀県レイカディア大学同窓会憲章

一、互いに助け合い、高齢者社会を生きる資質と実践力を高めよう。

一、心身の健康を保って、社会活動に積極的に参加し、高齢社会の支柱となって働こう。

一、古き良きものを伝承し、新しきを生み出して、郷土社会の健全な発展に尽くそう。

一、会員の研修及び母校の発展に寄与する活動を積極的、持続的に推進しよう。

一、社会の発展に即応する高齢者像の具現のために励みあい、提携し合う輪を内外に広めよう。

平成六年七月十一日改定
滋賀県レイカディア大学同窓会

目次

レイカディア大学同窓会の歴史	01	会員だより	38
会長、学長、滋賀県知事挨拶	02	第9回地域活動事例発表会	45
平成28年度長寿者慶祝	05	同窓会ホームページ	49
新入会員のひとこと	07	各支部の歳時記	50
歓迎！ 新入会員のみなさん	13	平成28年度本部役員名簿	52
各支部のこの一年	14	平成28年度同窓会組織図	53
私たちのボランティア活動紹介	32	編集後記	54

滋賀県レイカディア大学同窓会の歴史

1978年　9月29日　滋賀県老人大学開校式　1年制 80名でスタート
1979年　2年制に拡充　福祉学科を文芸学科に
1980年　9月22日　同窓会設立　10月1日　「會報」創刊号発行
1981年　10月29日　近江八幡校舎から大津厚生会館へ
1982年　3月8日　同窓会憲章制定
1984年　5月16日第4回定期総会　8支部編成　同窓会会員463名
1985年　6月高島支部結成（9支部に）
1986年　5月會報5号発行
1988年　10月13日「米原校」開設
1989年　3月11日　開校十周年記念式典（於大津）
1990年　3月26日　レイカディア振興財団設立
1990年　9月　同窓会結成十周年
1991年　10月10日　同窓会結成十周年記念式典「青銅花瓶贈呈」
1993年　7月30日　大津校舎から長寿社会福祉センターへ（新設）
10月　滋賀県レイカディア大学に改称
校歌制定　芥川賞受賞作家の高城氏作詞
校章制定　滋賀大秋元教授デザイン　（人間の夢の飛翔を象徴する紙飛行機）
1997年　6月11日　定期総会（會報15号）　彦根・愛犬支部→湖東支部へ、湖東支部→中部支部へ
1998年　8月29日　開校二十周年記念行事
1999年　10月13日　第一回支部対抗グラウンドゴルフ大会
2003年　4月 1日　レイカディア振興財団→県社協に統合
2006年　5月13日　同窓会創立二十五周年定期総会
2009年　県が休校宣言　11月26日　嘉田知事面談　休校撤回交渉
2010年　5月13日　休校撤回　継続決定　10月　草津校サポート隊発足
2011年　4月　米原校サポート隊発足
5月17日　定期総会（同窓会会則の全面見直し）
同窓会創立三十周年記念式典　第13回親善グラウンドゴルフ大会
9月 1日　草津校プレ大学祭ステージ演芸に参加
2012年　同窓会創立三十周年記念「會報第28号」（特集号）発刊
同窓会活性化対策アンケートの実施
第35期生入学　草津 びわこ環境学科, 健康づくり学科, 米原 北近江文化学科, 健康づくり学科
草津校第1回大学祭
2013年　米原校第1回大学祭、草津校第3回大学祭
大津支部のボランティア活動に対し大津市から感謝状授賞
2014年　10月　同窓会ホームページ開設
2016年　10月　第39期生入学

十周年記念で贈呈された「青銅花瓶」

制定された校章

謹賀新年

滋賀県レイカディア大学同窓会
会長　堀江 勇夫

ゆく川の流れは絶えずして、しかも、もとの水にあらず。淀みに浮かぶうたかたは、かつ消えかつ結びて、久しくとどまりたるためしなし　　　　　　（鴨長明・方丈記）

この世の神羅万象一つとして、同じところに同じ相（すがた）で留まっているものはなく、すべては無常であり、「何事も継続するためには、変わり続けなければならない」と諭しています。

さて、これを受けて平成２８年度の本部定例事業は、役員はじめ会員の皆様の絶大なるご協力によりまして、恙ない進捗を見ることができました。ここに改めて衷心より感謝申し上げますと共に、今後とも変わらぬご支援ご協力をお願い申し上げる次第であります。

ここで、平成二十八年度に掲げた活動方針に思いを致し、検証をしておきたいと考えます。

一、研修部会担当の「地域活動事例発表会」には第9回目にして初めて御来賓をお迎えしてお言葉を頂戴することとなりました。また報道機関への取材依頼もNHK・BBC・有線TY・全国紙・ローカル紙各社にお届けして広報活動にも力を注ぎ、その成果に期待を寄せました。

二、ホームページの自主運営については、ＨＰ運営管理規定を順守して順調に運用していただいており、各支部のＨＰの新たな開設やスキルの上達・内容の向上が顕著となってきました。

三、「男女共同参画の提唱と平成二十八年度役員構成」については、女性会員の就任を願ってきたところでありますが、歴代初めて研修部会長にそれを実現することができました。

四、本部専門部会に地域貢献活動統括部門として、「地域活動部会」を新設し同窓会活動の在り方や、情報収集とその活用方法、尚また同窓会の組織形態（例えば、法人格の取得）の研究に取り掛かることとしました。

五、機関誌「會報」の紙面刷新については、広報部会の主体的努力によって、予算の範囲内でオールカラー化を実現するとともに、滋賀県知事にメッセージを寄せて頂くことを定例化しました。

六、支部の分割については、真摯に検討された支部がありましたが、今般は見送るという結論に達しました。支部編成の行政区割りについては実情に沿うよう明文化しました。

七、同窓会が滋賀県レイカディア大学建学の趣旨に沿って、地道に実践している地域貢献活動の社会的認知度を、どのように高めるかについて試行錯誤を続けていたところでありますが、今般「滋賀の縁創造実践センター」の推薦により「滋賀えにし認定団体」に認証していただき、文字通り滋賀県下に公認された、一人前の地域貢献団体となることができました。まことに御同慶の至りであります。

以上、全般を見渡して参りますと、正に平成二十八年度は私ども同窓会員にとって、歴史的年度となった感があります。

兎にも角にも、魅力ある同窓会を実現するために存在する諸課題を一つ一つ克服し、果敢に使命を果たしていけるよう、微力を尽くしてまいりますので、今後とも新会員様の斬新な発想と、女性会員様の細やかな視点を、より反映できますよう積極的な参画意識を発揚していただきたくお願い申し上げましてご挨拶といたします。

セカンドライフのより一層の充実に向けて

滋賀県レイカディア大学
学長　渡邉 光春

滋賀県レイカディア大学同窓会會報第３３号の発刊にあたり、一言ご挨拶を申しあげます。

同窓会会員の皆様におかれましては、ますますご健勝にて日々ご活躍のこととお喜び申しあげます。また日頃より本学の運営につきまして格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申しあげます。

さて、厚生労働省が発表した調査によりますと、わが国の平均寿命は男性80.79歳、女性が87.05歳で、いずれも過去最高を更新し、男性、女性とも世界のトップクラスにまで達しています。

このことは、わが国では企業等からリタイアした後のシニアの生活は実に長くなったことを意味しており、リタイア後のセカンドライフのより一層の充実が求められているところであります。そして、時代は今や年齢に拘わらず活躍し続けられる一億総活躍社会を目指そうともしています。

このように我が国が高齢社会へと突き進む中、レイカディア大学は、一旦リタイアした後は地域に戻ってボランティア活動や仲間づくりなどの活動を通じて生きいきと地域貢献することを大きな前提としていることから、滋賀ならではの誇るべき学び舎であると自負しております。いわば高齢社会におけるセカンドライフのあり方についての先進的な取り組みであります。

しかし、人生９０年時代に到達しようとする今、より一層のセカンドライフの充実を支援するため、本学の現状の取り組みに甘んじることなく、新たな社会参加の姿をも模索する必要があると考えております。

つきましては存在意義ある大学、魅力あふれる大学づくりに邁進し続けてまいりますので、同窓会の皆様には大所高所からご意見やご提言をいただくとともに、今後も本学をお支えいただき、ご理解ご協力を賜れば誠に幸いに存じます。

同窓会の今後のますますのご発展と会員の皆様のご健勝ご多幸を祈念いたしまします。

「近江の心」で滋賀から「新しい豊かさ」の創造に挑戦

滋賀県知事　三日月大造

明けましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、日頃からレイカディア大学の運営に対し多大な御支援、御協力を賜り、誠にありがとうございます。卒業後も円滑な運営をお支えいただいている皆様の熱心な姿勢、地域における実践活動に対しまして、深い感謝と敬意を表します。

さて、急速なグローバル化や人口減少、情報通信技術や人工知能の進化といった新しい時代を迎え、次の世代を担う若者たちにどんな社会を引き継ぐのか、私たちに問われています。「成長」から「成熟」へ、「競争」から「共生」へと価値観が変化している今、滋賀県では、今だけ、モノだけ、自分だけではない、「新しい豊かさ」の創造に挑戦しています。

その中で、私は「近江の心」と多様な人の力を大切にしていきたいと考えています。「近江の心」とは、中江藤樹先生の「良知（生まれながらにして持っている美しい心）」の心であり、糸賀一雄先生の「この子らを世の光に」の考えにある一人ひとりの個性を大切にする心であり、雨森芳洲先生の「たがいに誠をもって交わろう」の考えにある異文化を理解する心であり、近江商人の経営の理念である「三方よし」の考えにある公の心であり、琵琶湖とともに生き、自然との調和を重んじる心です。この「近江の心」は、それぞれの先人たちが生きた時代を超えて変わらない、私たち滋賀県民の誇りです。

そして、先人から受け継いだ滋賀の輝きを未来世代に引き継ぎ、次の時代を支える新しい価値観をつくり進めるとき、最も大切なものが人の力であり、会員の皆様のように、共に地域を支え合う多彩な人の存在です。魅力ある地域づくりにおいて、年齢、性別、国籍、障害のある・なしといった様々な違いがあること、その多様性を尊重し、受容する力を高めることが、今後ますます重要となってまいります。

未来を見据え、滋賀県では、多様な方々が持てる力を発揮でき、全ての人に居場所と出番があることが豊かさの実感につながるという考えのもと、共生社会実現に向けた取組を進めているところです。会員の皆様におかれましては、地域において子どもたちや若い世代の家庭を支える取組にも活動の幅を広げていただき、大変心強く感じております。

様々な立場の人たちが知恵を出し合い、汗をかき、対話・共感・協働で県政を進めてまいりたいと存じますので、引き続きお力添えを賜りますようお願いいたします。

結びに、同窓会の今後ますますの発展と、会員の皆様の御健勝、御多幸を祈念いたしまして、あいさつとさせていただきます。

平成28年度　長寿者（白寿・米寿）慶祝

所属支部	受賞者氏名	卒校	卒期	学科	生年月日	住　所
中　部	こうやま 神山 やを	米原校	9期	生活	大正 6年 9月 7日	東近江市
大　津	やました かつみ 山下　克己	草津校	23期	文芸	昭和 4年 1月16日	大津市
	なかむらあい 中村　アイ	草津校	21期	生活	昭和 4年 5月13日	大津市
	かのう　さだよし 狩野　貞義	草津校	20期	文芸	昭和 4年 9月22日	大津市
	ふじおかさだお 藤岡　貞夫	草津校	25期	文芸	昭和 4年11月14日	大津市
草津・栗東	こばやし えいこ 小林　栄子	草津校	18期	文芸	昭和 4年 9月29日	草津市
	たけむらひでお 竹村　秀雄	草津校	16期	ｽﾎﾟﾚｸ	昭和 4年 8月23日	栗東市
	にしだ たじろう 西田 太治郎	草津校	18期	ｽﾎﾟﾚｸ	昭和 4年12月21日	栗東市
	かわきたけんごう 川北　憲剛	草津校	24期	陶芸	昭和 4年 9月10日	栗東市
	かめだ　みつぐ 亀田　貢	草津校	12期	陶芸	昭和 4年 2月 2日	栗東市
	たかの　きお 高野　僖男	草津校	24期	園芸	昭和 4年 2月22日	栗東市
甲賀・湖南	たにきたかいちろう 谷北　嘉一郎	草津校	17期	文芸	昭和 4年11月18日	甲賀市
	すぎもと　こ 杉本　つた子	草津校	13期	生活	昭和 4年 7月21日	甲賀市
近江八幡	ひろた　けんいち 廣田　謙一	米原校	17期	文芸	昭和 4年 8月17日	近江八幡市
	にしの　のぶこ 西野　信子	米原校	13期	ｽﾎﾟﾚｸ	昭和 4年12月 9日	近江八幡市
中　部	やすだ いくお 安田　郁夫	米原校	22期	文芸	昭和 4年 9月 7日	近江八幡市
湖　東	や だ　え 矢田 しず江	米原校	18期	ｽﾎﾟﾚｸ	昭和 4年 1月16日	彦根市
	きたがわ ひろし 北河　博	米原校	28期	ｽﾎﾟﾚｸ	昭和 4年 1月16日	彦根市
湖　北	なんいん ふさこ 南院　房子	米原校	12期	生活	昭和 4年 1月10日	長浜市
	あくつ　しげる 小圷　茂	米原校	24期	園芸	昭和 4年 3月 1日	長浜市
	みやざき しゅんじ 宮崎　俊治	米原校	21期	園芸	昭和 4年 3月16日	長浜市
	み わ　のぶお 三輪　信雄	米原校	21期	園芸	昭和 4年 4月25日	米原市
	しみず　ひでかず 清水　秀和	米原校	23期	ｽﾎﾟﾚｸ	昭和 4年 7月30日	長浜市
	つかむら そとえ 塚村　ソトエ	米原校	16期	生活	昭和 4年 8月16日	米原市
	しのだ　としえ 篠田　敏枝	米原校	16期	ｽﾎﾟﾚｸ	昭和 4年 8月28日	米原市
	お ぎ　てるお 尾木　輝雄	米原校	15期	ｽﾎﾟﾚｸ	昭和 4年 9月 1日	米原市
	たけだ　ひさお 武田　久雄	米原校	14期	文芸	昭和 4年 9月23日	長浜市
	すずき　あけみ 鈴木　明美	米原校	13期	生活	昭和 4年10月23日	長浜市
高　島	ふるたにみ よ こ 古谷　美代子	米原校	21期	文芸	昭和 4年 1月 3日	高島市
	はった きよみ 八田　キヨミ	草津校	19期	文芸	昭和 4年 9月26日	高島市

出席された受賞者

おめでとうございます

後列左から　大津・狩野貞義、湖北・宮崎俊治、甲賀湖南・谷北嘉一郎、草津栗東・竹村秀雄、大津・山下克己
前列左から　草津栗東・西田太治郎、湖北・篠田敏枝、湖東・矢田しず江、中部・安田郁夫、湖北・尾木輝雄
（敬称略）

米寿慶祝者で最も学期の古い１２期陶芸の亀田さん（草津・栗東）のご自宅を訪問しました。

「あぐりの郷栗東」の近くの亀田さん宅を國松、教野で訪問。最近まで味噌を作っていたというご自宅にほのかに味噌の香りを感じる。米寿とは思えない元気な顔と声で迎えてくださった。室内には陶芸の永い趣味を感じさせる素晴らしい作品が飾られてあった。筆者は３２期陶芸で、同じ陶芸に親しむ者としては興味いっぱい。

まず、在校時の想い出を聞いた。当時は大津に学校があり、陶芸の授業は水口の教室だった。授業料、研修旅行などすべて無料。必修講座の講師も一流の先生たち。県財政が良い時で、今とは比べものにならない。皇子山でレイ大運動会など楽しい思い出も。

亀田貢さん

日常どのように過ごされているかをお聞きすると、毎日運動のつもりでGゴルフに出かけるという。趣味の一つの表装による美術品も多い。ご自宅に窯を持ち、作品作りと近所の人にも陶芸教室を開いている。

我々レイ大の後輩に一言をいただいたところ、「還暦過ぎての仲間の絆は想像以上に深いもので、これを最大限活かし、これからの人生に役立ててください」とのこと。

同窓会への希望・提言をいただいた。支部の世話役の経験が人との縁を生む。積極的に同窓会に関わってください。横の絆は盛んなようだが、縦の絆が同窓会の本命。先輩後輩で楽しく支えあえる同窓会になるよう期待します。

（文　草津・栗東支部　教野弘孝）

新入会員のひとこと

大津支部

草津校　３７期　園芸　**木村 幹男**

新しいことに毎年取り組むことにしている。四月から再度働き、社会と関わりながら、今後も地域ボランティアを頑張っていきたい。

草津校　３７期　陶芸　**相馬 茂子**

先輩の皆様のご指導によりいろいろなボランティア活動に積極的に参加したいと思っています。

草津校　３７期　地域文化　**中川 幸子**

私の好きな言葉「はかなきことにも慰むるかな」枕草子に出てくる言葉、つまり、「ほんの小さなことにも喜びの種子で気持ちよくできる」です。

草津校　３７期　園芸　**藤田 順一**

私の好きな言葉は、①流れに身を任せる　②成るように成る　③去る者追わず来るもの拒まず　何事も深刻に考えず今を大切に生きたい。

草津校　３７期　園芸　**田中 建夫**

我が家の100坪の畑は、もとは田んぼで、作物はほとんど根腐れで収穫出来ませんでした。この秋、客土でかさ上げし、耕土つくりから始めました。良好な作物が収穫できるよう園芸学科で学んだことを実践しようと思っています。

草津校　３７期　陶芸　**栗山 悟**

ほぼ毎日ボランティア活動（陶芸・サポート）＆集会（会議・雑談）＆運動（ＧＧ／ウオーク）＆家事（料理・他）と一日一日が楽しく過ぎてゆく毎日

草津・栗東支部

草津校　３７期　園芸　**伴 功勝**

同窓会に参加しましたが、何をしていいのかまだ決まっていませんが、友達を多く作るためにできる限り（現在仕事中）行事に参加したいと思っています。

草津校　３７期　園芸　**前田 至史**

７７歳の喜寿を迎え、知的・体力的に衰えが目立ちますが、迷惑をかけないよう努力します。よろしくお願いします。

草津校　３７期　健康づくり　**鳥居 春実**

健康づくり学科に２年間学べた事で、健康及び寿命についてより深く考え行動する事が出来ました。何よりも学科内及び以外の仲間が出来た事で、今後も草津・栗東支部にて皆さんと微力ながら繋がりを大切に活動したく思います。

草津校　３７期　健康づくり　**加藤 鈴夫**

レイ大のクラスやクラブ活動を通じて多くの新しい仲間を得る事が出来ましたし、地域活動にも参加する様になりました。滋賀に移住してきて２３年、やっと滋賀県民になれた様に思います。

草津校　３７期　陶芸　**山本 惠司**

レイ大陶芸学科を卒業し楽しい思い出が沢山できました。入学するまでこれと言った趣味がなかったのが今は陶芸倶楽部で楽しい毎日です。又ボランティア活動にも目覚め地域活動を継続して参ります。

草津校　３７期　陶芸　**三本木 哲朗**

レイ大の2年間で、多くの仲間と知り合うことができました。これからは、この仲間とのつながりを大切に、陶芸やボランティアの活動を、続けていきたいと思っています。

草津校　３７期　園芸　**原 光義**

近所の先輩に進められて入学しました。レイ大での２年間は、本当に楽しく有意義でした。２年前より、地域活動に初めて参加しました。同窓会の活動にも、出来るだけ参加したいと思います。

草津校　３７期　健康づくり　**森 俊一**

６０歳になるのを待って入学し、早い２年間でした。いろいろなつながりもでき、これからは多くの先輩の皆様と共に地域等、お役にたちたいと思います。

草津校　３７期　園芸　**櫛田 紘三**

自治会の役員を引き受け公園の樹木の剪定をきっかけにレイ大に入学し、今ではボランティア活動に積極的に参加し、園芸で習った経験を活かし剪定と仲間との交流を楽しんでいます。

草津校　３７期　健康づくり　**山崎 忠海**

二年間はあっという間に楽しく過ぎさりました。健康第一に時間を大切にいろいろな出会いを楽しみに充実した日々を送りたいと思います。

草津校　３７期　園芸　**堀井 喜一**

クラスメイトのみんなと仲良くできたお蔭で、２年間楽しく過ごさせていただきました。『日々新たに！！』をモットーに色々なことにチャレンジしていきたいと考えていますのでご指導を宜しくお願いいたします。

草津校　３７期　健康づくり　**太田 禮子**

健康づくり学科に入学して、地域サロンに役立つ情報を多く学べて、意義ある二年間をあっという間に過ごせました。これからまた新たな人間関係の中で一歩を踏み出したいと思っております。

草津校　３７期　健康づくり　**森 一雄**

新会員として、大学発展のため、微力ながら尽力に対応できるよう頑張ります。

草津校　３７期　健康づくり　**中島 實**

レイ大で学んだことを活かし、これからも健康づくりに励んでいくとともに、地域にお役に立つ活動をこれからも微力ながら続けていきたいと思っています。

草津校　３７期　園芸　**北川 恵子**

感動を共有出来る友達、楽しみ、共に汗を流せる仲間との交流を大切に、何事に対しても丁寧に生きていきたいと思っています。

草津校　３７期　園芸　**大石 修**

レイ大には、庭木の剪定を学びたく園芸学科に入学しましたが、園芸知識もさることながら、今までの会社人生とは一味違う価値観をもった人と交流できたことが貴重な財産になりました。今後の人生や地域のためにこれら体験を生かしていきたいと思っています。

草津校　３７期　園芸　**小川 肇**

レイ大では園芸学科で学びました。二年間は隼のように過ぎましたが、多くの知識と仲間ができました。今後は仲間達との交流と地域活動・ボランティア活動、レイ大サポート隊・同窓会活動を進めて行きたいと思っています。

草津校　３７期　健康づくり　**一坪 洋子**

レイカディア大学在学中は、委員会活動や、課題学習など大変でしたが、充実した日々でした。卒業後もその気持ちが続きますよう願っています。

草津校　３７期　園芸　**深尾 作治**

レイカディア大学を卒業後はサポート隊、草津・栗東支部、栗東ファーザーズ倶楽部、その他・・・と盛りだくさんの活動をしていきます。その中で私は大学で学んだ園芸の知識や実習をもとにガーデニングや野菜づくりの力を高め、楽しい人生を過ごしていきます。

草津校　３７期　地域文化　**林 貢**

レイ大での学業が農業と両親の介護が両立するか不安なスタートでしたが多くの仲間に支えられ、無事に卒業することができました。これからは地域活動に参加させて頂きたいと思っています。

草津校　３７期　地域文化　**福島 敏弘**

歴史に興味があった事から、地域文化学科で学びました。レイ大での最大の収穫は、新しい友人が出来たこととボランティア活動のきっかけとなったことです。今後は、レイ大での経験をもとに、微力ながら地域や友人との繋がりを大切にして活動していきたいと思います。

守山・野洲支部

草津校　３７期　陶芸　**西本 和三郎**

9月にレイカデイア大３７期陶芸学科を卒業し、同窓会に入会しました。現在老両親を抱え生活中、カメのようにゆっくりとやんわりとしか行動できませんが同窓会でも新しい仲間づくりが出来ればと思っています。

草津校　３７期　びわこ環境　**三宮 信夫**

レイカデイア大学では、環境における多様性の重要さを学びました。これは人間社会でも同様に重要と思いますが、現代社会は多様性が無くなりつつあることを憂えます。好きな言葉は“和して同ぜず”

草津校　３７期　地域文化　**中村 惠美**

面白そう＝やってみたい＝いろんな事にチャレンジ＝笑いヨガの教室を持ち、元気を貰うために施設にも出張。コールフリージアの一員としてサロンで歌う。母から貰った着物を着て、友達と一緒にランチ＝欲張りな私＝

草津校　３７期　地域文化　**西村　茂**

『レイ大２年間でたくさんの方と親しくなりました。これからは同窓会の皆様と知り合うことができることを楽しみにしています。趣味は旅行、麻雀、グランドゴルフ、ウオーキングです。どうぞよろしくお願い致します。

草津校　３７期　健康づくり　**大継一夫**

レイカディア大学健康づくり学科で、学んだ健康寿命の伸ばすため、食事・運動・リフレッシュ等に気を配り、楽しく・明るくボランティア活動にも努力していきたい。好きな言葉：やってみせ、言って聞かせて、させてみて、誉めてやらねば人は動かじ　座右の銘　：誠心誠意　尊敬する人：山本五十六

草津校　３７期　陶芸　**北脇ふみ子**

このたびは、快く仲間として迎えていただき有難うございます。立派な先輩たちについていけるかははなはだ不安ですが、活動を通して「仲良く楽しくおしゃべりさせてもらいたい」と思っています。宜しくお願い致します。

草津校　３７期　園芸　**福崎博昭**

4年程前に大阪から会社の連中、近所の友達などを残して守山に引っ越して来ました。老夫婦の会話だけでは寂しく、たまに行くゴルフだけでは物足りずレイ大に入学する。末永く付き合える素晴らしい友達に恵まれ最高。

草津校　３７期　陶芸　**西村あやこ**

レイカディア大学では、沢山の方々とお出会いして楽しく有意義な日々を過ごさせていただき、増々元気で充実した老後をと思い入会させていただきました。先輩の皆様宜しくお願いします。

草津校　３７期　園芸　**津田重幸**

仲間づくり、生きがいづくり、遊んでばかりでなくチョット奉仕活動。すばらしいレイ大精神に感動です。出会った仲間との友情を大切にこれからも自分に出来ることを・・。

近江八幡支部

草津校　園芸　**山根　浩司**

「何歳になっても『挑戦』すること、結果にこだわらず常に“楽しく生きる”ことが大事」と盆栽の先生から学んだことが印象的です。

米原校　北近江文化　**勝田　裕市**

もう無理はしないぞ。もう飲み過ぎないぞ。もう無茶は出来ないぞ。と云いながら自覚し反省を繰り返す日々多し。『自分の体は自分で管理して！』の言葉が身に染みわたる今日、この頃です。

米原校　北近江文化　**山本　哲夫**

私の信条は、百聞は一見に如かずです。更に百見は一考に如かずと続き、百考は一行に如かずと結びます。レイカ大では『楽しさと継続力』の大切さを学びました。今後は愉快な百行は・・？を目指します。

米原校　北近江文化　**中野　伸生**

これからの人生『一歩前進、二歩後退』前を向いて、マイペースで、後退を恐れずにチャレンジ精神で有意義に過ごしましょう。

米原校　北近江文化　**橋　喜代司**

「時間は有限。努力は無限」健康に留意して、限られた時間だからこそ無駄にせず、自分のできることを精一杯やって少しでも世の中の役に立ちたい。

米原校　健康づくり　**木村　萩女**

２年間の学生生活を終えてからも、暇になることなく気の合う友達とレクダンをしたり、グラウンドゴルフを始めたりして老春を楽しませて頂いています。健康寿命を保ちながら家族を大切に頑張りたいと思っています。

甲賀・湖南支部

草津校　３７期　地域文化　**米田 幸子**

「女子大生だ！」と、うきうき気分で入学しあっという間の2年間。　何歳になっても、学ぶ楽しさ、気付きの大切さなど再認識した時間でした。　今後は出会った仲間と、次世代に誇れる地域を残す活動を楽しくやります。

草津校　３７期　地域文化　**市井 眞一**

これからの残り人生を有意義に過ごしたいと考え入会しました。先輩皆様方と楽しく過ごしたいと思っております。宜しくお願いいたします。

中部支部

米原校　３７期　園芸　**城尾 清一**

第２の人生、ボランティアを通じて仲間と共に歩みます。

米原校　３７期　北近江文化　**今岡 多望**

古希を訪ね、街道を歩き、城址を登る。そこで友を得、友に学び、そして生きがいを見つけたこの２年間。わが人生を振り返るとき、先ず脳裏に蘇るものであろう。

米原校　３７期　園芸　**中川 雄二**

レイ大で学んだ２年間で多くの友と出会い自分の世界が広がったように思います。今後も学んだ事を少しでも地域の為に生かし、生涯現役で活動したく思っています。

米原校　３７期　健康づくり　**吉田 勤二**

レイカディア米原校での学生生活　あっという間に過ぎました。多くの仲間と出会い、今までにない充実した生活を過ごしました。そんな仲間に感謝！これから出会う同窓会の皆さんご指導のほどよろしくお願い致します。尊敬する人　伊能忠敬

米原校　３７期　園芸　**松木 喜代司**

出会いを大切に、ともに楽しく生きる。

草津校　３７期　陶芸　**溝口 明子**

レイカディア大学で学んだ事を少しでも生かせるような活動をしていきたいと思います。今後も一期一会出会いを大切にしたいと思います。

米原校　３７期　健康づくり　**福永 初枝**

同窓会の歓迎会で再び地域とのつながり、仲間の広がりを頂きました。先輩との交流を深めつつ、自分磨きをし、地域のボランティア活動に携われたらと思っています。

米原校　３７期　健康づくり　**福永 都**

レイ大二年間の宝物はいい仲間に入れていただいた事です。又、みんなで取り組んだ地域・課題・いろんな学習は、これからもサロン等で生かせるようにと思っています。

米原校　３７期　園芸　**木下 由雄**

私の好きな言葉「誠無外」この様にこれからも生きて行きたい。今後ともご指導よろしくお願い致します。

米原校　３７期　北近江文化　**今堀 敏仁**

四字熟語の「虚心坦懐」（きょしんたんかい）を座右の銘にしています。その意味は心にわだかまりを持たず素直でさっぱりした気持ち。無心で平静な心境。偏見がなく心を開いている事。の意味です。

米原校　３７期　園芸　**中澤 修**

これからは諸先輩方との絆を深め、レイ大園芸学科で培った知識等が生かせるよう地域ボランティア活動に積極的に参加したいと思います。ご指導ご鞭撻方よろしくお願い致します。

米原校　３７期　園芸　**富江 清**

大学の２年間楽しく過ごせました。卒業後は３７里山クラブで、その知識を生かして里山活動を続けていきます。

米原校　３７期　園芸　**加藤 英男**

成せば成る、成さねば成らぬ何事も、成らぬは己が成さぬけり

湖東支部

米原校　３７期　園芸　**廣田 由行**

大学祭のクラスの寄せ書きに書いた言葉が、「仲間とともに元気に生きる」でした。共に学んできた仲間との絆を大切にしながら、元気に生きるをキーワードに人生にチャレンジしていきたいと思っています。

米原校　３７期　園芸　**山口 義雄**

レイカディア大学卒業後も地域性のある楽しい仲間の輪に入り、しかも縦割りのつながりの中で互いに交流できる場は、これからの生き方に潤いや安らぎをもたらしてくれる存在だと思っています。

米原校　３７期　園芸　**村西 俊雄**

晩年の新たな感動を「四字熟語」で「多士済々」「百戦錬磨」「器用貧乏」の「歴戦勇士」と「水平思考」で「百家争鳴」「談論風発」「和気藹々」のなか残された日々を「敬天愛人」の志で過ごしたい

米原校　３７期　健康づくり　**中川 藤兵衛**

レイカディア大学で学んだおかげでボランティア活動に対する思いが高まったようである。日頃から世話になっている地域に対して、感謝の気持ちをもって少しでも活動ができればと思っている。

米原校　３７期　健康づくり　**西澤 則彦**

好きな言葉「おかげさま、ありがとう」、「人は希望を持つかぎり若く、青春である」　座右の銘「関心・感動・感謝」　尊敬する人「親鸞」「道元」「相田みつを」

米原校　３７期　北近江文化　**上田 常雄**

湖東支部、豊郷OB会の新会員歓迎会での、諸先輩の前向きな生き方に感銘を受けた。小学校卒業時、校長先生よりの色紙『照干一遇』を座右の銘に、これからも自分にできる精一杯の努力を続け、社会に貢献したい。

米原校　３７期　北近江文化　**竹内 和美**

何歳になっても挑戦することが出来るレイカディア大学での学び、良きクラスメイトとの2年間に感謝!!地域社会に役立ちたい思いを一歩ずつ。

高島支部

草津校　３７期　地域文化　**古谷 芳實**

俺が俺がの我を捨てて、おかげおかげの下で生きたいと思っています。近世の歴史に興味を持ち楽しく学んでいます。

草津校　３７期　びわこ環境　**川尻 耕生**

レイ大卒業後は、地球温暖化防止推進委員としての活動と合わせて、先輩諸氏の指導を仰ぎながら地元での活動にも参加したいと思います。

歓迎！　新入会員のみなさん

支部	氏名	卒校	学科
大津	中村　登	草津	園芸
	森神　勇	草津	園芸
	中谷　浩治	草津	びわ環
	宮下 康子	草津	陶芸
	木村 幹男	草津	園芸
	田中 勇	草津	陶芸
	渡邉 英津子	草津	健康づ
	中川 幸子	草津	地文化
	梅田 和美	草津	健康づ
	中西 徹	草津	陶芸
	落合 修一	草津	びわ環
	小林 茂	草津	園芸
	相馬 茂子	草津	陶芸
	松井 清子	草津	園芸
	田中 繁	草津	地文化
	徳本 敏子	草津	健康づ
	安藤 剛	草津	陶芸
	的場 令子	草津	健康づ
	三宅 乃芙子	草津	地文化
	藤田 順一	草津	園芸
	田中 建夫	草津	園芸
	栗山 悟	草津	陶芸
草津栗東	伴 功勝	草津	園芸
	前田 至史	草津	園芸
	鳥居 春実	草津	健康づ
	加藤 鈴夫	草津	健康づ
	山本 惠司	草津	陶芸
	三本木 哲朗	草津	陶芸
	原 光義	草津	園芸
	森　俊一	草津	健康づ
	櫛田 紘三	草津	園芸
	山崎 忠海	草津	健康づ
	堀井 喜一	草津	園芸
	太田 禮子	草津	健康づ
	森 一雄	草津	健康づ
	中島 實	草津	健康づ
	北川 恵子	草津	園芸
	大石 修	草津	園芸
	小川 肇	草津	園芸
	一坪 洋子	草津	健康づ
	深尾 作治	草津	園芸
	林 貢	草津	地文化
	福島 敏弘	草津	地文化

支部	氏名	卒校	学科
守山野洲	津田 重幸	草津	園芸
	福崎 博昭	草津	園芸
	八嶋 博	草津	園芸
	北脇 ふみ子	草津	陶芸
	西村 あやこ	草津	陶芸
	西本 和三郎	草津	陶芸
	三宮 信夫	草津	びわ環
	中村 恵美	草津	地文
	西村 茂	草津	地文
	小森 正	草津	地文
	大継 一夫	草津	健康づ
甲賀湖南	増田 勝彦	草津	園芸
	高木 和子	草津	園芸
	鈴川 登志子	草津	陶芸
	市井 眞一	草津	地文化
	村上 多津美	草津	地文化
	米田 幸子	草津	地文化
	渡辺 貴誉子	草津	園芸
近江八幡	内池 繁次	草津	園芸
	山根 浩司	草津	園芸
	吉田 輝雄	草津	地文化
	大森 與志雄	草津	陶芸
	馬杉 清	草津	陶芸
	服部 エツ子	米原	園芸
	服部 信幸	米原	園芸
	竹中 和子	米原	園芸
	北川 佐一	米原	園芸
	山本 哲夫	米原	北近江
	中野 伸生	米原	北近江
	橋 喜代司	米原	北近江
	勝田 裕市	米原	北近江
	木村 萩女	米原	健康づ
	佐々木 富美代	米原	健康づ
	森 政一	米原	健康づ

支部	氏名	卒校	学科
中部	中澤 修	米原	園芸
	今堀 敏仁	米原	北近江
	布施 征男	米原	北近江
	福永 都	米原	健康づ
	加藤 英男	米原	園芸
	木下 由雄	米原	園芸
	冨江 清	米原	園芸
	福永 初枝	米原	健康づ
	城尾 清一	米原	園芸
	吉田 勤二	米原	健康づ
	松木 喜代司	米原	園芸
	今岡 多望	米原	北近江
	溝口 明子	草津	陶芸
	中川 雄二	米原	園芸
湖東	若宮 博史	米原	園芸
	立脇 雅子	米原	園芸
	上野 芳樹	米原	園芸
	山口 義雄	米原	園芸
	村西 俊雄	米原	園芸
	廣田 由行	米原	園芸
	諏訪 俊雄	米原	北近江
	石山 昌憲	米原	北近江
	竹内 和美	米原	北近江
	森口 康恵	米原	北近江
	上田 常雄	米原	北近江
	中川 藤兵衛	米原	健康づ
	西澤 則彦	米原	健康づ
湖北	泉 憲	米原	園芸
	奥澤 富恵	米原	園芸
	塩 志津枝	米原	園芸
	奥長 裕幸	米原	北近江
	三宅 豊	米原	園芸
	高橋 勘太郎	米原	北近江
	池野 勝乃	米原	園芸
	宮川 好由	米原	園芸
	三和 直矢	米原	園芸
高島	古谷 芳實	草津	地文化
	川尻 耕生	草津	びわ環

写真で振り返る「レイカ大津」のこの一年

2015年10月～2016年9月

10月 新入会員歓迎会＆レイカ大津の集い（36期の新入会員の方々）

10月 大津祭

11月 本部主催地域活動事例発表会

11月 坂本ウォーク

1月 グラウンドゴルフ

2月 新年会

12～2月 ヨシ刈

4月 作品展

4月 支部総会

5月 本部総会

9月 スッキリ士隊

9月 生涯学習ﾌｪｽﾃｨﾊﾞﾙ

小学校応援

草津栗東支部

28/4　新執行部でスタート

支部三役（副支部長、支部長、副支部長、会計）

支部理事会は２ヶ月ごとに開催

Ｇゴルフ大会　28/5

ノルディックウオーキングと
フリーピンポン28/10

ディスコン大会　28/11

レイカディア大学同窓会
草津・栗東支部だより

平成28年8月 No28－3号
総務広報部発行

理事会の充実（意見交換や提案の活発化、会員への報告）は、同窓会が活性化する条件の一つであると考えています。最近の理事会での主な決定事項等を報告します。

理事会(5/23、6/27)の報告

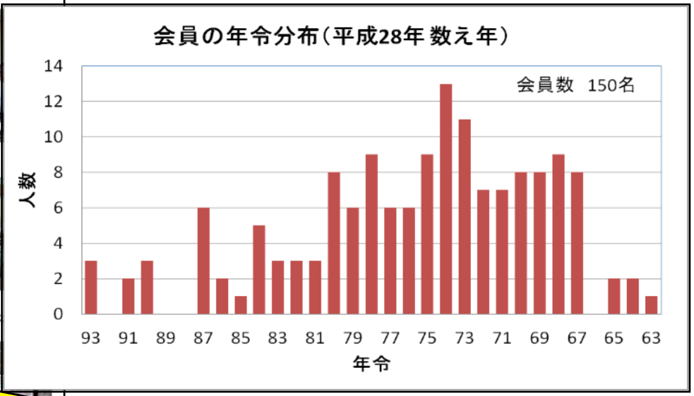
1．理事会の開催
①偶数月の第４月曜日に西一会館にて開催する。
②出席者の意見・提案の発言を活発にしたい。
③会員へは理事会の報告を行う。
④理事が欠席する場合は代理者の出席を依頼する。
2．地域交流会の開催
①学区合同で２８年度に２回開催する。同窓会の活性化の重要な鍵として位置づける。
②予算の増枠を行う。
3．地域活動や趣味等の調査
①会員の地域・趣味活動、趣味、メールアドレス等の調査を依頼する。
②調査結果を活用して、同窓会の活性化の役にたてる。
③会員名簿にも一部を記載して、活動や交流等の促進材料にしたい。
4．同窓会だよりの充実
①内容、読みやすさを改善する。カラー化を試行する。
②各部会の行事は早期に掲載する。
5．同窓会のあり方
①機会あるごとに、意見交換をし、支部活動に活かしていく。

（支部長　河前良和）

本部常任理事会(6/28、7/27)の報告

同窓会には、本部と９つの支部があり、会全体の活動を企画実行する４つの部会があります。
事務局からの報告
・卒業式（３７期生）は９月９日
　同窓会新入会申し込み締切は８月３１日
・入学式（３９期生）は１０月４日の予定
総務部会
・平成２９年度定期総会の開催を平成２９年５月１６日（火）とする。
・親善Ｇゴルフ大会については本部としては中止し、支部または複数支部として実施していた
研修部会
・地域活動事 … に近江八幡市で開催する。
９支部から …
招待職員 …
広報部会
・会報第３３号は、１２月中旬－下旬 …
当支部の投稿は、「私達のボランティア活動」、…
・ＨＰの新企画を検討する。（地域活動や各部会の情報掲載等）
地域活動部会
・支部の現状把握のため、調査を依頼する。

支部だよりのカラー化スタート　28/8



円山古墳　28/3

銅鐸博物館　28/3

福林寺跡磨崖仏　28/3

余野公園　28/5

徳永寺　28/5

草津宿場まつりの時代行列警護

のこの1年

各支部のこの一年

草津・栗東支部　作品展・活動展

地域活動　その他小学校整備　福祉施設傾聴など

草津街あかり行燈

大宝神社サンヤレ踊り復興

学区交流会　28/9～12

グラウンドゴルフ　28/10

新善光寺・万年寺ハイク　28/12

南草津歴史探訪　28/12

レイカディア大学同窓会 守山・野洲支部だより

第21回 守山・野洲支部定期総会　平成２８年５月１７日（火 ）　ホテル琵琶湖プラザ

支部長就任挨拶

守山・野洲地区160名の会員の皆さんや、各班の世話役としての理事の方々のご支援ご協力を得ながら支部事業の取組に精一杯務めさせていただきますので宜しくお願い申し上げます。

第 二 部　講演　熊本　正幸氏

第 三 部 懇親会

第18回 支部作品展　平成２８年６月１７日 ～ ６月２１日　野洲市民活動支援センター

平成２８年度新入会員歓迎会　平成28年10月11日（火）　吉身中町自治会館

＊＊＊　歓迎のことば　　支部長・中山　幸夫　＊＊＊

この度は、守山・野洲支部にご入会いただきありがとうございます。
このご縁を大切に、仲間として交流を重ねていただければ幸いです。

平成28年度<研修>ＧＧ＆ＢＢＱ　10月21日（月）希望が丘文化公園・近江富士花緑公園

第33回支部ＧＧ交流会　9月30日（金）
立入健康ＧＧ場

秋の「歩こう会」　11月21日（月）
京都紅葉見物と京都大学フランス料理

甲賀・湖南支部のこの一年

総会と理事会

甲賀・湖南支部では今年度より３項目の改革を実行し魅力ある同窓会活動を目指すことになりました。三役を支部長１名、副支部長２名とし副支部長の１名が会計を担当するというシンプルな本部体制にする。

支部事業遂行は５部門に割り振り、各名称を「体育部」「文化広報部」「ボランティア活動部」「作品展、新入会員歓迎部」とする。

また各理事が部門担当になり理事互選で部長を選任し、部長主導で事業遂行する。三役はこれらの事業を統括する。

ボランティア活動部の新設

地域貢献を具体化するための活動の推進を「ボランティア懇話会」を通じてボランティア活動部が担当する。　以上のように同窓会を「機会の提供」「情報発信」の両輪でより力強く進めていくことになりました。

新入生歓迎会

平成２８年１０月２１日（金）水口中央公民館・講義室に於いて、新入生歓迎会が、開催されました。３７期で卒業された７名の新入会員紹介の後、歓迎アトラクションとして、３１期生地域文化卒の平田尚士氏ほか５名による「ハワイアンドバンド『アロハレア』」のハワイアンが数十曲演奏され、参加者一同楽しいひと時を過ごしました。

趣味の作品展

平成２８年１０月20日（木）～21日（金）両日、水口中央公民館・視聴覚室に於いて、会員の趣味の作品が開催されました。出展者は21名、俳句、川柳、書、絵画、写真、陶芸、手芸品、盆栽、菊鉢等々作品数は33点と数多く出品され、今日まで鍛えてこられた技量、智才腕前を発揮された作品群でした。一般の見学者も多数来場されました。

グラウンドゴルフ大会

6月13日平成28年度の第1回目の甲賀・湖南支部のグラウンドゴルフ大会が甲南・杣川グラウンドで会員23名参加の下、楽しいひと時を過ごすことが出来ました。健康作りと仲間のコミュニケーションに大いに役立ったと思っております。第２回目は１１月中旬開催されました。

1日研修旅行

平成２８年１１月１０日(木)、神戸方面へバスによる「甲賀・湖南支部　日帰研修旅行」を実施しました。
朝８時の甲南支所前出発、「神戸海洋博物館・カワサキワールド」見学、「南京町（昼食）」散策、「神戸市立森林植物園」散策並びにバス内懇談等で、久しぶりに会った会員とゆっくりした時間を過ごし、１８時４０分ほぼ予定通りに帰着しました。
神戸海洋博物館では、神戸港の歴史、いろいろな船舶をジオラマや模型により楽しむことができました。
またカワサキワールドでは新幹線も含む鉄道車両、タンカー等の各種船舶、ヘリコプター等の各種航空機といった日本の重工業を１世紀以上牽引してきた川崎重工の歴史をかいまみることができました。
またかの有名な「松方コレクション」が川崎重工初代社長松方幸次郎のものであったことを知り、芸術にも秀でた社長という意味で新鮮な驚きでした。
昼食は南京町の上海料理店で本場の味に舌鼓をうち、最後に神戸市立森林植物園を訪れました。
ここでは１週間前と打って変った急激な寒さの為、綺麗に色づいた紅葉をみることができました。
この森林植物園は、外国産の２００種の樹木が年中楽しめるように配置され、１日中ハイキング等を楽しむことができます。公共交通機関の便が少ないのが難ですが、又来てみたいと思わせる場所でした。
皆さん方のご協力により３２名が参加していただき、楽しい旅行にさせていただきました。

ボランティア活動

Ｈ２７年6月30日と9月2日の2回「ボランティア懇話会」が水口中央公民館でボランティアセンターの大平正道、出口敦子講師を迎えて実施されました。支部としてまず会員の希望しているボランティア活動を、要請されている自治体や福祉団体、事業体に紹介する等橋渡しをする程度が妥当となりました。
本年度は７月６日に懇話会を開きました。現在18名がボランティアセンターに登録していますが、現会員の9割近くが何らかの活動を行っておりこれとの連携も今後進めていきます。

同好会活動

グラウンドゴルフ同好会

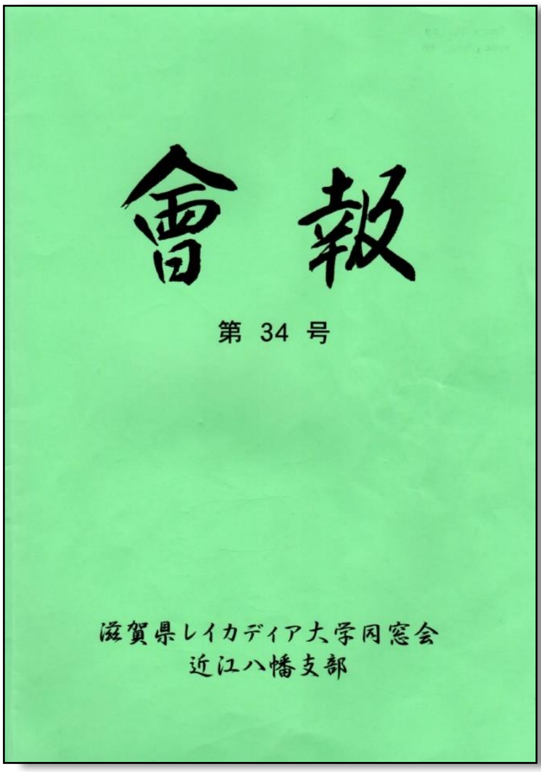
各地を車で走っていますと、各地の河川敷や公園の広場等にグラウンド・ゴルフの旗が立っているのが見受けられます。
現在２６名の会員で年に６回行事を計画しています。開催日に都合の付く方が集まろうと決めており、その日に都合が付けば参加というように運営をしており、大会の都度の参加者は８名～１５名です。今年も６回の開催を予定しています。

里山ハイキング同好会

里山や旧跡を巡るハイキングは楽しみとともに健康維持、増進のきっかけにもなります。甲賀，湖南、信楽方面の里山歩きです。今年は4月に寺院巡りと鏑流馬見学、9月に太郎坊宮散策、11月に高旗山と御斉峠ハイキングなど仲間と語らいながら日頃行けないところを楽しく歩くことが出来ました。年3回実施しています。

近江八幡支部のこの一年

近江八幡支部では毎年會報を発刊しています。今年は記念特集の35号となります。
現会員・新入会員及び関係各位からの寄稿と1年間の支部活動のまとめをした冊子です。



昨年発刊の34号

月日	事業の概要
4月25日（月）	平成２８年度近江八幡支部定期総会（於：グリーンホテル近江八幡）
5月 9日（月）	十三仏・箕作山ハイキング
5月25日（水）	第１回グラウンドゴルフ大会（会場：運動公園）
5月26日（木）	平成２８年度本部定期総会（於：滋賀県長寿社会福祉センター）
6月11日（土）	マレットゴルフ実践練習（会場：文芸の郷）
7月15日（金）	第２回グラウンドゴルフ大会（会場：運動公園）
7月～8月下旬	支部会報第３５号の原稿募集
8月30日（火）	ニュー・スポーツ大会（会場：市民共生センター）
9月26日（月）	新入会員歓迎会（於：ひまわり館）
10月11日（火）	趣味の教室（於：ひまわり館）
10月12日（水）～14日（金）	支部会員作品展（於：ひまわり館）
10月19日（水）	4支部親善グラウンドゴルフ大会(会場:日野川GG場)
10月25日（火）	親睦グラウンドゴルフ大会とバーベキュー（会場：国民休暇村）
11月 9日（水）	第２回ハイキング（行き先：伊崎半島一周と伊崎寺）
11月14日（月）	本部主催地域活動事例発表会（会場：ひまわり館）
11月17日（木）	一日研修旅行（訪問先：上野城と芭蕉のふるさと伊賀）
11月28日（月）	支部会報第３５号発行・配付
1月17日（火）	料理教室（於：ひまわり館）
2月27日（月）	文化講座（於：ひまわり館）

平成28年度事業実績、計画

今年は現会員98名、新入会員15名からの寄稿と一部創刊号の挿入等でページ数は60Pを超えます。今年の4月に総会があり、平成27年度の事業報告と28年度の事業方針・計画及び新組織役員が承認されました。役員会が毎月開催され本部活動及び支部の各事業部会から計画等が報告されます。

◆組織の現状（平成28年10月現在）

１．支部会員数　208名

２．支部役員の構成

支部長　1名　副支部長　2名　会計　1名　監事　2名　顧問　2名

相談役　1名　地区役員　25名

３．事業部会　　総務部・研修部・保健体育部・広報部（4部会）

◆平成28年度事業方針

１．近江八幡支部の伝統を継承しつつ会員のニーズに合う新しい事業を取り入れ活動の活発化を図る。

２．母校レイカディア大学への入学者を増やすと共に卒業生に対して同窓会への加入を働きかける。

３．会員が参加しているボランティア・グループ間の交流・情報交換を図り、積極的に地域活動に参加する

４．スポーツ行事や各種文化講座への参加を奨め、会員の健康増進と見識を高める。

◆平成28年度の事業実施と今後の予定

平成28年度定期総会＆懇親会　4月25日

第1回親睦グランドゴルフ大会　5月25日

岩戸山・十三仏ハイキング　5月9日

マレットゴルフ実践教室　6月11日

ディスコン大会後の手作りカレー昼食　8月30日

37期新入会員歓迎会　9月26日

今後の予定

1．平成29年1月　新年会
2．　　　　1月　料理教室
3．　　　　2月　文化講座

中部支部 年間活動紹介

平成２７年度支部総会　（2016.4.26　於 八日市延命荘）

支部総会で支部長のご承認を頂き、総会後、新体制での初回役員会でスタート

平成２８年度同窓会本部総会　（2016.5.26　於 草津校）

総会の中で長寿者の慶祝があり、中部支部では、白寿の能登川分会・神山やを様、米寿の安土分会・安田邦夫様がお祝いを受けられました。

安田様は、お元気に出席され、神山様には、後日お祝いをお届けしました。

中部支部親善グラウンドゴルフ大会　（2016.9.26　布引運動公園）

31名の参加

1位:中村 清さん

2位:酒井直裕さん

3位:山川徳守さん

4位:今宿 猛さん

5位:松川宇一郎さん

久しぶりに心地よい汗を。

４支部親善グラウンドゴルフ大会　（2016.10.19　日野川河川敷グラウンドゴルフ場）

107名参加のうち、中部支部は、24名の参加

男子の部でホールインワン賞に大蔵勢一郎さん

女子の部で

　2位:田井中幸子さん

　5位:林芳枝さん

晴天の下、久しぶりに集合の4支部の皆さんと楽しいプレー＆語らい

一日研修旅行　日間賀島　（2016.11.01）

知多半島 南知多 日間賀島で新鮮な海の幸を賞味。４５名の参加

第９回地域活動事例発表会　（2016.11.14）

今後の予定　２８年度総会　（２９年３月予定）

湖東支部の一年

新会員歓迎会　自己紹介に始まり、共に先輩方と芸を楽しみ、杯をかわす。

9月23日　一休庵にて

グラウンドゴルフで交流　「入った」「惜しかった」と飛び交う会話

優勝の佐々木豊治さん

10月4日　荒神山グラウンドゴルフ場にて

研修旅行　福井県若狭方面　11月4日

敦賀の氣比神宮

三方五湖

会員の作品展開催　趣味と特技の世界が一堂に

会員の趣味と特技の世界を公に問う、恒例の作品展が、７月８日(金)～１０日(日)、彦根市民会館で開催されました。出展者は３５名、出展数は６２点。作品の部門は、絵画、工芸、彫刻、写真、盆栽、手芸、書、陶芸など多彩。異色だったのは藤居忠治さんの『缶風車』。空き缶を利用しての実演、自作に、見学者は「夏の涼をかんじますね」と感心されていました。

来場者は延べ１０３名。会員以外では、通りがかりの観光客、近くのオフィスの方、同会館での絵画教室に通う方、コスプレの催しに参加した方と様々。

手芸(パッチワーク、タペストリー)を見たアメリカ人姉妹は「アメリカンタッチね」と、故郷を思い、共感しておられました。また絵画教室の指導を終えて立ち寄られた先生は、「この椿の葉の色の濃淡は、実に上手に描けている」と褒めておられました。竹灯籠は手の器用さ、緻密さが問われますが、６点の作品の前でしばらく立ち止まる方が多かった。折り紙に代わり銅版と真鍮を折って作った鶴も珍しく、作者に作り方を問う人も多く見られました。

作品展

湖北支部の活動紹介

当支部は10月1日現在会員数が301名でその内長寿会員が52名です。高齢化が進み新入会員は今年第37期卒業生9名でした。毎年新入会員が減少する一方高齢化で会員の逝去が増加しつつあります。

第二十二回湖北支部 春季グラウンドゴルフ大会開催

平成二十八年度7年度定期総会

四月二十五日、長浜ロイヤルホテル

大塚支部長の挨拶の後、ルール説明や注意事項を聞き、体育部の皆さんのご協力の下、ＡＢＣの三班に分かれ、３ゲーム二十四ホール、ストロークプレーが鍛えた技を生かし競い合う中にも笑行われた。日頃いもあり楽しいひと時を過ごすことが出来ました。賑やかなうちに終了、お互いに健闘をたたえ合いました。グラウンドゴルフは打つ強弱、方向性、歩く、熱中する、このことは、脳に良い刺激となり、認知症予防に大いに役立つと言われております。

開催日	２８年６月２４日(金) ８時３０分～１１時３０分
場　所	長浜ドーム
競　技	3ゲーム 24ストロークマッチ
参加人員	４４人

平成28年度 大学祭開催される

今年も県立文化産業交流会館のイベントホールとロビーで７月20日から22日の三日間、大学祭が盛大に開催され延べ５５０余名が来場されました。今回も同窓会湖北支部を通じて出展をお願いした処、会員、卒業生の皆様より、絵画14点、写真１点、手芸（工芸含）６点、園芸４点、書２点他多くの力作、宝物を出展いただきありがとうございました。出品展示会場整理、イベント出品展示会場整理イベントに協力して下さった卒業生、サポート隊の方々ありがとうございました。

在校生の学習成果発表も盛りだくさん在り、卒業生の地域活動も発表されました。体験コーナー、紙芝居、お楽しみコーナーや演芸（出し物）もあり充実した大学祭でした。来年の大学祭未向けて出品する作品つくりに励んでください。見学にも行きましょう。

秋季グラウンドゴルフ大会

快晴の秋晴れの下、10月12日に草野川河川敷グラウンドゴルフ場において湖北支部秋季グラウンドゴルフ大会が37名の参加者で開催されました。伊吹山の頂が七尾山越しに眺められ絶好のコンディションの中で、グラウンドゴルフに楽しんでいただきました。

当グラウンドは芝コースと土コースがあり変化に富み大変面白いコースで、ホールインワンに顔をほころばせたり、歓喜の声がグラウンドに響き渡りました。
楽しくプレーをして和気あいあいの内に終了されました。

四支部グラウンドゴルフ大会

四支部グラウンドゴルフ大会は10月19日に日野川グラウンドゴルフ場で開催されました。開催場所が遠いこともあって湖北支部から14名の方の参加となりました。

朝から澄みきった青空の下、少し動けば汗ばむほどの陽気となり、1ラウンド18ホールの芝生で休むことなくプレーとなりました。グラウンドはバンカーあり、山ありの起伏のある興味深い作りで更にホールの周りはサークル状に芝が刈り残され、湖北の精鋭も勝手が違うのか力を出し切れないようです。そんな中、安居邦子さんが見事三位に入賞されました。

プレー中は他支部の方とも情報交換をする等、和気あいあいの中終える事が出来ました。

第九回 地域活動事例発表会

第9回地域活動事例発表会は十一月十四日に近江八幡のひまわり館で開催されました開催されました。当日は約百名の参加者が見守る中で各支部の代表が地域活動の事例発表をされました。来賓の近江八幡市の富谷市長様から「シルバー世代の皆さん方が地域活動のリーダーとして活躍しておられる事に深甚なる敬意を払うと共に今後も地域活動に貢献して頂く事を大いに期待しています」との言葉がありました。

湖北支部の代表として近藤光博さん他４名の方が**「平核無柿の栽培を通じて社会貢献」**をテーマに米原市大清水地区で栽培放棄地になりつつあった柿農場を地主から引き受けて教えを得ながら栽培を続け地域の柿栽培農家の減少の歯止めもされた活動について発表をされ参加者が大変感動を受け、多くの意見や質問が出て大好評でした。

試食の柿も用意され参加者は賞味しながら興味深い話に聞きほれていました。

高島支部の一年

月　日	内　　　　容
3月28日（月）	第1回　支部役員会
4月　1日（金）	ミニ通信　第57号　発行
4月19日（火）	28年度　定期総会＆懇親会
5月24日（火）	第2回　支部役員会
5月25日（水）	ミニ通信　第58号　発行
6月16日（木）	親睦　グランドゴルフ大会
6月22日（水）	ミニ通信　第59号　発行
7月　7日（木）	第3回　支部役員会
7月　9日（土）	ミニ通信　第60号　発行
8月31日（水）	第4回　支部役員会
10月14日（金）	新入会員　歓迎会（新入会員は2名）
10月25日（火）	高島市役所：高島支所　庭木剪定作業（参加者　11名）
10月26日（水）	第5回　支部役員会
10月26日～10月31日	高島支部　作品展(出展者：24名・作品数：77品）
10月31日（月）	親睦　グランドゴルフ大会（安曇川GG：20名が参加）
12月13日（月）	第6回　支部役員会

新入会員歓迎会 2016.10.14

ボランティア活動（高島支部剪定作業）2016.10.25

２８年度　作品展　2016.10.26-31

親睦グラウンドゴルフ大会　2016.10.31

私たちのボランティア活動紹介

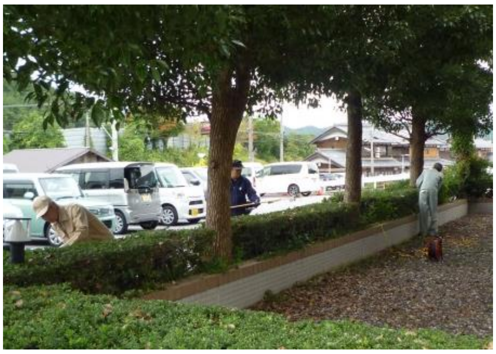
ゆめホールの剪定作業レイ大ガンバ剪定奉仕隊

湖北支部　米原校　３２期　園芸　**草川 洸治**

　ある友人の話です。ボランティア活動をしようと仲間の意見が纏り、近くの施設へボランティアで剪定作業をさせてもらえるか尋ねたところ、「継続して将来的にもやっていただけるならば嬉しいが、一、二回の思い付きならば困る。なぜならば、毎年年間行事予算取りを計画してやっているのが、ややこしくなったり、やり直しになったりしては困るから」との事でした。

　私たちもレイ大在学中に、発表会に向けての課題を探していた時があり、将来とも継続してやっていくとの心構えもなく、その場しのぎの、目の前の課題をこなす事しか考えていませんでした。

　そんな時先輩の方々が「米原地域福祉センターゆめホール」の生け垣の剪定作業をしておられる、とのことより、その仲間に入れていただき在学中の発表会をクリアする事が出来ました。そんなご縁で卒業後も毎年、一回ではありますが、剪定作業のボランティア活動が続いています。３１期の方から始まったと聞いておりますので8年間続いていることになります。作業内容は敷地周囲の生け垣の剪定作業です。当初4ケ所でしたが、現在は中山道沿いと裏手の生け垣、玄関前の植木との3か所を手分けして作業しております。



新たなやりがい・生きがいを

守山・野洲支部　草津校　３１期　生活科学　**岡村 喜久雄**

　レイカディア大学を卒業してＮＰＯ法人ＮＡＬＣ（ニッポン・アクティブライフ・クラブ）びわこ湖南に所属し、守山・野洲・栗東・草津の多くの仲間（現在、びわこ湖南拠点では49世帯83人の会員が加入し、うちレイカディア大学卒業生は7名が所属）と活動しています。
 ナルクびわこ湖南は、
　＊守山、草津会場での子育て支援「ふあふあ」、
　＊グループホーム、保育園等施設の外部評価・第三者評価、
　＊百歳体操支援（高齢者介護予防）、
　＊グループホーム等介護施設慰安訪問、
　＊会員の同好会活動（フラダンス, 料理教室, ゴルフ, 歩こう会, グラウンドゴルフ, ヨガ教室）
などの活動を通じて、「自立、奉仕、助け合いで生きがいを」をモットーに、地域に根差した多様な活動で会員それぞれのやりがい、生きがい実現を目指す集団です。
　会員それぞれが興味ある活動を選び楽しみながら活動しています。

　現役時代は“自宅は就寝するところ”のような生活が続き、住んでいる地域に全く目が向かず、地域との関係を殆ど失いかねない日々を続けていましたが、これからは自らの生活や地域を見つめ、その改善に関心を持ち、微力ながら身近なことから主体的に行動するなかで新たなやりがい・生きがいが見つかればと考えています。

　ナルクの仲間と一緒にこれからの充実した人生を実現してみませんか？

ふあふあ

ふあふあ

グループホーム・慰安訪問

同好会・歩こう会

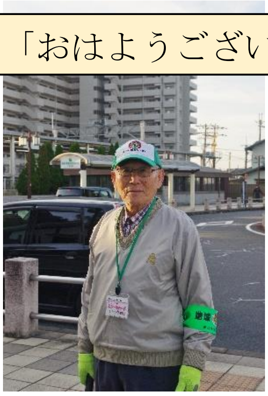
３０年間続けている通学児童交通見守り

草津・栗東支部　草津校　１６期　スポレク　**竹村秀雄**

栗東市の竹村さんのご自宅を大西、教野で訪問した。今年米寿の慶祝を受けられたが、見た目、８８歳なんてまず見えない、体も声もお顔もお元気そのもの。１０年前の大病の克服も、「負けないという気概」が大きかったとの話も大変参考になる。

１６期生のスポレク学科卒。滋賀県庁前の大津厚生会館に設置されていた老人大学から米原校／草津校に分かれて「レイカディア大学」となった最初の学期が１６期だったそうだ。新品の草津校で開校。当時のスポレク学科は米原校と草津校が盛んに行き来があり、合同授業も多く、その時のご縁で全県的に顔が広くなり、交流が今でも続いているという。

当時のレイ大は予算的にも潤沢で授業料無料で講師も超一流。恒例の高遠での研修、九州、沖縄、韓国旅行なども自費負担殆どゼロ。そして、卒業後もスポレク卒として知事らとグラウンドゴルフを中国に教えに行ったり、実に楽しかった。レイカディア大学はいろんな経歴の人が集まって、出会いと交流をもとめてお互い勉強するのが基本です。



子供たちの「おはようございまぁす」の大きな声は元気のもと

そして卒業したら地元に戻って地域に貢献せよとの命題に何ができるかと考えたのが、朝の栗東駅前での「通学児童見守り」だ。これは誰にも言われず自分で始めた活動で、どんな天気でも毎日３０年間継続している。始めた当時は不審者が子供に声をかけているとか、いろいろ誤解もされた。今はどこでも地区委員、学校の先生、ＰＴＡのお母さんらが道で立ち出した。

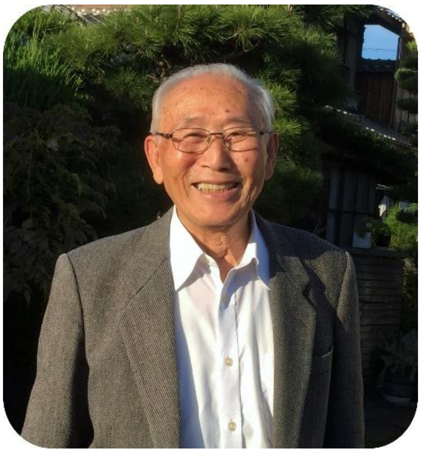
信号の無い駅前を１００人もの小学生たちが列をなして学校へ通学するのを見守り続けている。子供たちが大きな声で「おはようございま〜す！」の声に「おはよう、おはよう」と声かけながら車の通行を止めて安全に歩行させる。雨の日は通勤サラリーマンの送迎車が渋滞し、特に注意するという。

多くのボランティアの方たちとも馴染みになり、当時小学校見守りした子供たちも今は立派な大人で声をかけてくれる。毎年学校からの恒例で子供たちから手紙をもらうという。小さな事ながら継続することに感謝であり、自分の健康も子供たちからもらっていると思っている。

草津栗東交通安全協会の要職にあり、栗東パトロール隊として保育園・幼稚園・老人会で交通安全・防犯に関する寸劇、紙芝居などで啓発活動にも忙しい。

立木観音には毎月１回、一度も欠かさず登り観音さんに会うのも続ける楽しみ。

趣味の写真撮影など、話は尽きなかった。



歴代知事、警察署長、防犯協会会長、交通安全協会会長などなど非常に多くの賞状、楯に驚く。

（文　草津・栗東支部　教野弘孝）

今津山上会の高島トレイル

高島支部　米原校　２８期　園芸学科　**木下 納、柴嵜 久子**

私は、「今津(いまづ)山上会(さんじょうかい)」というサークルに所属しています。
今津山上会と云うのは、単に山を歩くだけのお楽しみサークルではなく、古道整備や高島トレイルの整備を年間の行事としています。
高島トレイルと云うのは・・・
日本列島を縦断する中央分水嶺のうち、高島市内を通り抜ける約８０ｋｍに亘る稜線で、この内約３０ｋｍが今津山上会の受持ちです。
トレイルと称する稜線の維持管理は比較的容易ですが、トレイルに至る取付け道路（登山口から稜線まで）が十数本あり、この整備が大変です。
下記の作業で使用する標柱・標識の他、かけや・鋏・鋸・チェーンソー・刈払機・電動工具類・ロープ等の他自分用の雨具･着替え・食料・飲み物等の運搬はもちろん人力で行います。

１．登山道の倒木処理
２．冬場の雪で損傷した登山道の補修（階段・ロープ等）
３．標柱・標識類の整備（雪で倒される・熊にかじられる等）
４．登山道を明示するテープの取り付け
５．登山道に覆い被さる雑草の除去（刈払機や鋏・鎌を使用）等を月に2回ぐらいの頻度で山に入り、地元の人たちや他所からの登山者が安全に楽しく今津の山に来てもらえるよう頑張っています。

今津町のトレイルには大御影山（９５０m）・大日尾根（９４０m）・三重嶽（９７４m）・武奈ヶ岳嶽（８６５m）・二の谷山（６０８m）・行者山（５８７m）と約１０００m級の尾根がつながります。
整備作業は本当に疲れる仕事ですがトレイルの途中で眺める琵琶湖の美しさや青葉山（舞鶴）から敦賀にかけての若狭湾の眺望、またブナの原生林や四季折々の山野草の花が疲れた体を癒やしてくれます。加齢とともに若い人と同じ山仕事はだんだんと厳しくなってきましたが、体の調子と相談しながら、続けて行きたいと思っています。

神戸ひまわり号ボランティア

大津支部　草津校　３３期　陶芸　**脇田 進**

神戸の障害者が「楽しい旅をしてみたい」という切実な願いを乗せた第30回神戸ひまわり号が11月13日、JR大津駅に到着。障害者70名、ご家族・介助ボランティアスタッフ111名、総勢200名弱という一行を大津市社協の皆さんと一緒に笑顔と「温かい気持ち」で出迎えました。

第30回を数えるという「ひまわり号」ですが、フレンドシップトレインと銘打ち今回は、大津市内散策と琵琶湖ミシガン周遊がメインの「ふれあい旅」です。

今回の大津市社協の要請に対して、大津支部は社協の尽力により短期間で助成金を頂いた経緯に感謝する意を込め、鋭意取り組みました。その結果、大津支部から13名、他支部から１名の計14名が急な案内にも拘らず参加頂き、支部の底力を発揮することができました。

レイカ大津として介助ボランティアは初参加ですが、障害者のはじけた笑顔に緊張感がほぐれました。支部として新たな分野への第一歩を踏み出した瞬間です。

秋晴れの中、長い行列が大津港を目指して散策。障害者の楽しそうな所作に接し、心もほぐれ、楽しい旅になるようにと応援しました。

秋も深まる湖国の「ふれあい旅」で皆さんはどんな出会いを体験されたでしょうか。きっと皆で楽しもうという気持ちを共有されたかと思います。湖国ならではのおもてなしが一体感を演出しました。

今回の介助ボランティアは初めての経験につき緊張しましたが、皆さんとの交流で障害者の外出のむずかしさを教えられました。社会が障害者へ関心を持って、誰でもが住み良い街づくりを目指す「共生社会」の形成が望まれています。誰もが相互に人格と個性を尊重し、支えあう社会にしましょう。

緑ヶ丘グリーンクラブの活動状況

甲賀・湖南支部　草津校　２７期　陶芸　**畑中 良一**

我がグリーンクラブ緑ヶ丘支部は今から４０年程前に開発された２４０軒からなる新興住宅地で活動しています。今では７０歳前後の方が多くなって、大変高齢化し、子供たちは親元から出ていき、爺ちゃん、ばーちゃんの多い状態です。グリーンクラブ緑ヶ丘支部の老人クラブについてお話いたします。

湖南市老人クラブへの入会は平成１５年ですが、その後いろいろ問題があり、平成２５年には役員になる人が出なくて、老人クラブ退会と言う問題も発生いたしましたが、湖南市老ク連の会長さん、創造推進員や区長さんの説得によって続ける事が出来ました。

私は２年余り役員をさせて頂きましたが多くの仲間と知り合った事、自身のボケ防止には大変良かったと思っております。

次に老人クラブとしてどの様な活動をしているかを述べたいと思います。

最近、健康寿命と言う言葉を耳にしますが、滋賀県は全国的に見て平均寿命は長い方であるが、健康寿命が短いと言われております。と言う事は、病気がちで長生きの方が多いという事になります。

平均寿命と健康寿命の差が約１０年も有り、この差を短くして表現が良くないが、ピンピンコロリを目指して活動しております。

そこでグリーンクラブの年間の活動計画を申し上げますと年の始めに新年会をして食事会をして、少々のお酒を飲み、カラオケやゲームを楽しみます。

定期的に行う活動として、毎週火曜日に百歳生き生き体操を自治会館にて実施しています。この活動は平成２４年から継続しております。

昨年８月に女性部中心で立ち上げて頂きました、グリーンサロン会を毎月１週目と３週目の月曜日に自治会館で開き、大変幅の広い活動をして頂いております。年間計画を立て、例えば昨年の秋ですが、下田駐在所から来てもらって、交通事故や振り込め詐欺についてのお話をして頂き皆さんから大変参考になったと喜んでもらいました。

さつき陶芸の活動として毎月１週目と２週目の月曜、火曜に陶芸を楽しんでおります。陶芸は適当な脳のトレーニングになり、又適当な指の運動にもなり、ボケ防止には最適と言われております。

余談になりますが、毎年、にごり池の桜まつりの日に作品の即売会をして、その売上金の全額を社会福祉協議会に寄付しております。

毎週３回、水曜、金曜、日曜、親水公園のグラウンドゴルフ場において、健康作りと仲間作りでグラウンドゴルフを楽しんでおります。

第３日曜日は緑ヶ丘の月例会となっており、自慢ではありませんが、年間参加延べ人数２０００人を遥かに超えています。

健康作り、仲間作り、健康寿命延長に、大いに貢献していると思っております。

これ以外に緑ヶ丘自治会と協賛行事として、グラウンドゴルフ大会を行い、終わった後食事会をしております。また今年は初めての企画でしたが、楽しい一泊旅行をする事が出来ました。これ以外に公園、陶芸所周りの草刈りなど、幅広い活動をしています。又昨年は湖南市老人クラブ企画のペタンク大会で優勝と言う輝かしい成績を上げることが出来ました。まだまだ未熟な老人クラブですが、こからもピンピンコロリを願って、健康寿命が延長出来る様精一杯仲間と共に楽しい老人クラブにして行きたいと思っております。

会員メッセージ

有終の美（ダンディズム）を生きる

大津支部　草津校　３１期　スポレク　**小野 英明**

「練功姿勢美の会」という健康体操教室を立ち上げ、教室開催回数は延べ５００回を超えた。直接の目的は、美しい体型・姿勢の創造であるが、究極の目的は、美しい身体を駆使し生活全般に美を表現するダンディズム＆エレガントのあくなき追求である。以下に会員の日々の生活全般に心得るべき「七訓」と、身体鍛錬の「日訓」三要訣を記す。

「練功姿勢美の会」生活七訓

一　美と矜持をもって生活万般を律し、「気品辺りを払う」人たれ。
二　美しい所作・仕草・立ち居振舞い・洗練された会話を心がけるべし。
三　ＴＰＯ＋αの装いを心がけよ。
四　体力は、体型・姿勢と機能（持久力、筋力、瞬発力、柔軟性、平衡性）の両輪の美に宿ることを自覚すべし。
五　常時、姿勢（立姿・座姿・歩姿）美人を意識せよ。
六　心身の表面及び内奥を清浄にし、存在の美を表現せよ。
七　目、耳、口、鼻，　歯、爪、髪等の細部に美の宿ることを知るべし。

「練功姿勢美の会」運動日訓

一　体型・姿勢美に憾みあるべからず（体型・姿勢の狂いを日々調整しよう）
二　歩みに缺くることあるべからず（毎日速足で歩こう）
三　操体に怠りあるべからず（体操を毎日欠かさずやろう）

指導者たる立場の私自身が最も厳しく遵守するべきであり、各項目をさらに具体化し日々の生活への応用に努めている。姿勢美は勿論、仕草・ファッション・小物・会話に至るまでダンディを貫くのである。要は痩せ我慢の精神である。

私もいよいよ古希を迎えた。体操教室を中止する時期は、「体型・姿勢・立ち姿特に後ろ姿に狂いが生じた時」「閉眼片足立ち１２０秒を維持できなくなった時」と決めている。立ち姿あくまで美しく、脳を髄まで搾り上げ、ダンディに粋にカッコよく、天寿を全うしたいものである。肉体の姿勢は心の姿勢に通じ、人生そのものの姿勢に通じる。姿勢美を意識する生活を継続する最大の効用は、運勢が抜群に強くなることである。姿に美的勢いのある者には運に勢いが宿り、昔日、アスワンで眺めたナイル川のごとく、「大河滔々」ただただひたすら流れるのみである。

祖父が植えてくれた松

中部支部　米原校 ２６期　園芸　**山本 耕三**

園芸学科の先輩（２０期生で故人）の誘いで、シルバー人材センター組織役員のかたわら同世代の方と共に庭木の剪定作業など良い経験をさせてもらいました。

なかでも、松の庭木に関しては害虫による松枯れや仕上がりの不具合などリスクが高く作業の引き受け手少ないなかで　人様の庭木の松の葉刈り手掛けて仕上げた松の姿を見上げるひとときの清々しい気分を味あうことが出来たのは自らが健康であったからです。

もとは、私と松の剪定との関わりは、私宅前にある松で祖父が私の誕生の記念に植えてくれた松であることを親から聞いており、その松を受け継ぎ４０年、自分なりに整枝剪定をしてきたもので、やがて樹齢９０年　私がいろいろ勉強させてもらったこの松が一昨年夏ごろから害虫被害を受け一部に枯れ枝が見られたために、薬剤による害虫駆除などの繰り返しと養生を重ねてきた。

この夏新芽も多く立ち、葉色も良くなり２年振りに剪定が出来る状態にまで樹勢が回復しました。

いつまでも、この松を護り年輪を重ねられるように自身の健康管理に努めています。

私の爪楊枝工作

近江八幡支部　米原校　３２期　生活科学　**佐藤 成宣**

子供頃から工作等が好きで「近江八幡おやじ連作品展示会」「レイカ大作品展」で多くの方々の作品を見て触発され、自分でも何かを作ってみたいと思っていました。よく「何故？爪楊枝で・・」という質問を受けます。正直自分でも爪楊枝を使った理由は明確でありませんが、「一回数秒の使用で捨てられる爪楊枝を何かに使えないだろうか」という単純な発想が最初でした。

何よりも安くて身近に手に入る、材料は一種類のみで調達に苦労しないなどの気楽さが何よりです。そして、暇なときに時間つぶしのつもりでチョコチョコできる、木工や陶芸のように大きな工作室や工房が必要無いなど直ぐに誰でも始められます。しかし、大きい作品（現在は全て１／５０の縮尺）になると平面に並べるだけで数百本が必要で、ただただ根気と集中力が必要で、時間つぶしとボケ防止には効果満点です。次に**「苦労するところ？」**を列記してみました。

①まず図面の入手です。「彦根城」は彦根の図書館で「法隆寺：金堂」は国立国会図書館に行けば何とかなると考え、向こうの職員さんに支援頂きながら入手できました。

②当初から作品は塗装しない決めていましたので、爪楊枝だけで質感の表現に事に気を使います。爪楊枝の貼る方向を縦・横・斜めに変えてみたり、爪楊枝に細かい切り込みを入れたして、作品ごとに自分なりのこだわりを持ちながら進めています。

③３作目で曲線を含む「彦根城」に初めて挑戦しました。細い真直ぐな爪楊枝を曲げるのはなかなか難しい。等間隔で軸径の半分ほど切り込みを入れ、少し湿らせて曲げながら接着していきました。また、曲線が組み合わされている屋根の設計が難しく、厚紙で試作したり、現物合わせで何とか対処しました。

④図面を入手して製作するものの、図面だけではどうしても解明できない部分が発生しますが、この時は現物を確認しに行きます。しかし、建物は下から見上げる状態が通常ですので、見たい所が見えず、最終的に想像で作る部分が発生しています。

⑤接着面積の大きい平面の製作は強度もあり扱いやすいのですが、樹木のように爪楊枝の丸軸面しか接着する所が無く、完全に乾燥するまで形を保持するのが大変で、接着後の強度も不安定です。

今号の表紙は佐藤さんの彦根城天守です

びわ湖放送の「きらりん滋賀」から佐藤さんが取材を受け、12月2日に放送されました。

毎年国宝の城を手掛けることに決め、彦根城のあと、現在は犬山城を制作中です。

自宅（一作目）使用本数≒３，５００本

ログハウス（二作目）使用本数≒６，０００本

彦根城（三作目）使用本数＝１２，５００本

白雲館（４作目）使用本数＝８，８００本

法隆寺金堂（５作目）使用本数＝１５，５００本

語り部と行く熊野古道

近江八幡支部　米原校 ３２期　地域文化 **濱口 勝司**

今年の4月から阪急交通社が主催する熊野古道ハイキングに参加しています。
日帰りが7回、1泊2日が2回、計9回の予定で熊野三山（熊野本宮大社・熊野那智大社・熊野速玉大社）を参拝して満願となります。
当初は熊野古道が世界遺産に登録されどんな所か歩いて見たくなり応募しましたが、京都から行く積りが予定の人数が集まらないということで中止となり、以来、毎月一回(8月を除く)一番電車で大阪に行きバスガイドのいない観光バスに乗って和歌山に観光に行っています。
熊野古道は足元に木の根っこが蛇のようにくねくねと伸びて地上をはっているので躓く恐れがあり又、道幅の狭い場所が多くて、これが平坦な道だといいのですが、急な下りや、急な上りがあり、そのうえ石ころがあったり、凸凹したところがあったりで大変歩きにくい所だと思いました。又、和歌山は雨が多いという理由で道に石を敷き詰めたらしく、そんな所だと坂道などは気を付けないと滑って怪我をする恐れがあります。こんな事ばっかりいっていると関係者に怒られますので、**（写真１）**を見てください。この写真は400年前に敷き詰めた石畳だと語り部さんが言っておりました。11月12日に歩いて来た所です。このように綺麗に残っている所もあるようです。
また、語り部さんは色々熊野古道に纏わるお話をしていただきました。例えば
小判地蔵(写真2)：江戸時代末期の頃ですが滝尻から近露に至る途中の十丈峠で、一人の旅人が息絶えていました。旅人は、最後の旅費である大切な小判を一枚、口にくわえて亡くなっていたそうです。村人達はその哀れな遺体を山裾の慈恩寺に手厚く葬りました。そして倒れていた場所には、慰霊と道中の安全を見守る守護仏として、口に小判を一枚くわえた姿の石仏を建てたのです。その台座には嘉永七年寅(1854)豊後有間郡(大分県)と刻まれています。
おぎん地蔵(写真３)：この地蔵は「妙安自楽信女、俗名おぎん」と刻まれています。文化13年(1816)10月29日がおぎんの亡くなった日です。この女性は京都の芸者であったという。道湯川の豊之丞を慕ってここまで来て、もうすぐ道場川という所で、二人組の追いはぎに襲われ、命までうばわれました。土地の者がその死を哀れんで、地蔵をたて、おぎん地蔵とよぶようになりました。
乳 岩(写真４)：そのむかし、奥州の豪族「藤原秀衡」が夫人を伴って熊野詣でにきた時、ここで夫人が急に産気づき、ここの岩屋で出産したとの言い伝えがあります。夫妻はここに赤子を残して熊野に向かいます。しかし、その赤子はこの岩から滴り落ちる乳を飲み、狼に守られて無事だったので、奥州に連れ帰ったと伝えられています。
箸折峠の宝篋印塔(写真５)と牛馬童子(写真６)：大阪本王子から近露王子に向かう途中、箸折峠の小高い丘に鎌倉時代の建立と推定される宝篋印塔(県指定文化財「近露の宝塔」があります。これは花山法皇の熊野御幸のおり、経典をこの地に埋納したとの伝説にもとづいて立てられたものです。藤原氏の策略にあって出家とともに皇位を失い、呆然とした心境のまま都を離れ熊野御幸に旅立った花山法皇はこの峠で萱の茎を折って箸にして食事をとろうとしたところ、茎から露がしたたり落ちました。法皇は「これは血か、露か」と物悲しげに側近に尋ねたといいます。
以来、麓の里は近露、この峠は箸折峠と呼ばれるようになったといいます。宝篋印塔の裏手には明治時代に法皇の旅姿を偲んで彫られた石仏、牛馬童子がたたずみ、熊野古道中辺路のシンボル的な存在になっております。
今回、語り部さんの話を聞きながらまた自然の草花を、また、景色を見ながら歩くのも大変良かったとおもっております。
険しい道がまだまだ多くあってお互いが声を掛け合いながら歩いた思い出はいつまでも残ると思いますし、最後まで頑張りたいと思っております。

写真1

写真2

写真3

写真4

写真5

写真6

次の干支まわりをめざして、スタートです

湖東支部　米原校　３１期　スポレク　**馬場 勝子**

６０歳から始めた早朝ウォーキング。さわやかな一日の始まりで爽快です。

７２歳、健康で続けられたことに感謝。

８４歳を目標に、一日一日を大事に大切に、日を重ねて、健康寿命を伸ばし、自己満足出来る日々を過ごせる様、心がけること。

新年の思いは、これらに尽きます。

その他、加えていけば、次のようになりましょうか。

時には”見ざる、聞かざる、言わざる“になり、生涯現役を維持しながら、多くの方々と出会い、触れ合い、交流して、四季折々の風情を楽しみ、五感を満足させていきます。

また、仲間と協力して、支え合いながら、笑顔・勇気・元気を頂き、出来る時に出来ることをして、ボランテイア活動の輪を広げていきます。

趣味としてタンスに眠っている着物の数々を、母の想いを紐解きながら、和服を洋服にリメイクして、世界でただ一つのオリジナルの一枚にと心躍らせ、ときめきながら楽しんでいきます。

又、心静かに、遊書，遊画、読書にと、雑学も趣味の仲間です。

いろんな敬老会に招かれて変身また変身（青い和服が似合いますか？）

スポレク米原校３１期の仲間（笑福いきいき座）とのボランティア

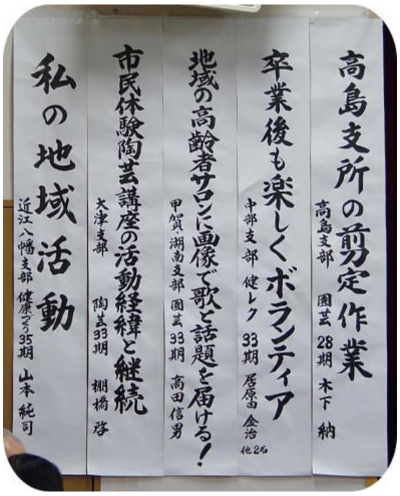
第9回地域活動事例発表会

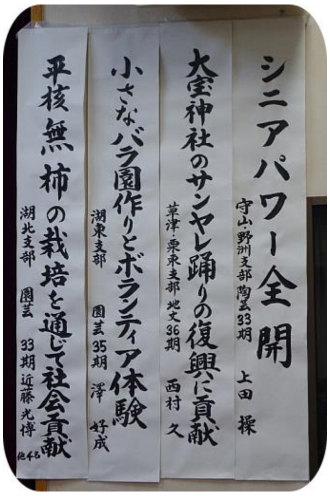
平成２８年１１月１４日（月）近江八幡市のひまわり館で第９回地域活動事例発表会が開催されました。当日は来賓として、近江八幡市長の冨士谷英正様、近江八幡市社会福祉協議会会長の二村實様、滋賀県社会福祉協議会課長の熊越久仁子様にお越しいただきました。

参加された方は１５９名（うち在校生１７名）と会場は盛り上がり、熱心に発表を聞いていただきました。発表の内容も９つの支部でバラエティーに富み、地域の福祉、環境保全、街作り、伝統文化の継承など地道に熱心に活動されている発表をお聴きし感動いたしました。

皆様がレイカディア大学設立の趣旨に沿った活動をされ、それを永く継続されていることに誇りさえ覚えます。これからも安心して住むことが出来る地域を目指し、支部同士の繋がりも深めていきたいと思います。　　　　　　　　　　　　（福井かおる　研修部会長）

発表の内容は同窓会ホームページに全編動画で記録されていますのでぜひご覧ください。





近江八幡市長

近江八幡市社会福祉協議会会長

同窓会会長

研修部会長

シニアパワー全開

守山・野洲支部

上田 操　３３期　陶芸

退職シニアが、「明るく」「楽しく」「健康的」に生き生きとした生活を送りながら、少しでも地域社会に貢献できるように活動することを目的に、平成１９年１１月に活動団体を設立した。環境保全活動、子育て支援、障がい者支援等の活動を定期的に行うとともに、自主サークル活動として、「百足ファーム」での野菜作り、収穫した野菜を使っての「百足料理教室」を年４回開催し、会員相互の交流を深めている。

大宝神社のサンヤレ踊りの復興に貢献

草津・栗東支部

西村 久　３６期　地域文化

栗東市の由緒ある大宝神社の「サンヤレ踊り」は昭和７年を最後に途絶えていた。これを復興できないかと地元の古老、神社関係者、市に働きかけ、地元に残る多くの資料を分析復興への道を模索した。支部会員の協力も得て、地元小学生、中学生も巻き込み、遂に２８年の大宝神社例大祭にて８４年振りに「サンヤレ踊り」を披露できた。当日は、県知事、市長立ち合いのもと、多くのレイ大ＯＢが大活躍。新聞、テレビ、ネットなどで大々的に紹介されました。

小さなバラ園作りとボランティア体験

湖東支部

澤 好成　３５期　園芸

彦根のバラ園の見学がきっかけとなり我が家の畑の一角にミニバラ園を、作ってみようと意欲がわいた。それは退職して帰省した６年前の事。村の先輩にレイカディア大学の入学を薦められ、３５期園芸に入る。在学中、仲間と伊庭愛笑会を結成、その活動を通じて園芸を広く深く学ぶ。同じころ豊郷町観光ボランティアの一員に入れていただく。昨年からは、地区の小学校の読み聞かせボランティアにも参加。小さなバラ園は数本の挿し木に始まり、今日では３０本近くになった。

平核無柿の栽培を通じて社会貢献

湖北支部

近藤 光博外４名 ３３期 園芸

レイ大３３期生５人組の奮闘ぶりを紹介します。社会貢献の一環として「後継者を探して地域の特産物平核無柿の栽培を復活」を継続して６年。始めた頃は高齢者が多く、後継者不足も手伝って耕作放棄・地域の特産品が危ぶまれるほどでした。この機会に栽培作業をすると共に、後継者の発掘や育成に力を注いできた。伊吹山の麓という柿に適した環境のもと、「環境こだわり農産物」として今では耕作放棄地もなく推移している。この発表を通じ特産物としての知名度を上げれば幸いです。

高島支所の剪定作業

高島支部

木下 納 ２８期 園芸

平成の大合併で高島役場から高島支所となり、職員の大幅な減少で庭木の手入れまで手が回らなくなりました。

伸び放題になったのを見るに見かねた近所の卒業生２名が平成１８年から始めた剪定作業ですが、平成２２年に園芸学科卒業生を中心に１０名以上が参加し、現在に至っています。３本の松の木の剪定の他、伸び放題になっている徒長枝や新芽摘み等を、高島支部の毎年の行事として剪定作業に取り組んでいます。植木の剪定とは経験・努力・SENSEだと思います。

卒業後も楽しくボランティア

中部支部

居原田金治、石川知重、宮田郁子

３３期 健康・レクリエーション

米原校・健レク３３期生は、２０１２年卒業と同時に、「シニア同士が支え合うグループを作ろう」という滋賀県社会福祉協議会が推進の、高齢者自主活動グループに「グループ燦燦」として登録。現在も全員が一緒にボランティア活動をしています。また、グループを３つに分けたチーム活動も各々行っています。その中の東近江市中心の「チームてぶくろ」のボランティア活動を紹介します。活動のモットーは、燦燦と同じく“楽しくボランティア”です。

地域の高齢者サロンに画像で歌と話題を届ける！

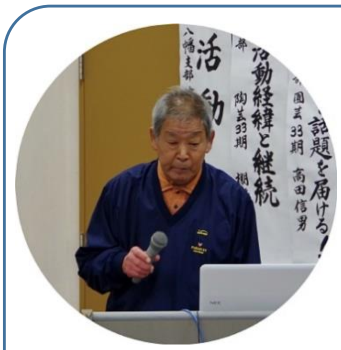
甲賀・湖南支部

高田 信男　３３期　園芸

高齢者サロン「高野ほのぼのサロン」での活動。自治会内の75歳以上の高齢者をサロン対象者として、74歳以下がサロンを支えるボランティアとなり、2007年4月から継続しています。

私はそのボランティアの1人として毎回約1時間を担当。地域の話題や出来事、歴史、行事等を写真や画像で紹介したり、懐かしい歌を皆で歌って頂いたり、身体の体操/頭の体操やクイズ等々パソコンとプロジェクターを駆使して楽しんで頂いています。

口コミもあり地元だけでなくあちこちに出掛けています。



市民体験陶芸講座の活動経緯と継続

大津支部

棚橋 啓　３３期　陶芸

平成２２年に２４期陶芸学科の中野清氏が中心となり、市民発信型活動の一環として立ち上げた。毎年２回開催し当年で６年を迎えるが、事情により一旦は継続を断念した。しかしながら種々の困難な課題を乗り越え継続活動に至っている。市民の方々に喜んでもらえたときは、やってよかったと思う。

レイカディア大学で習った我々の知識・経験を基に会員のみでなくもっと広く市民の方々に広げた活動を目指したい。

私の地域活動

近江八幡支部

山本 純司　３５期　健康づくり

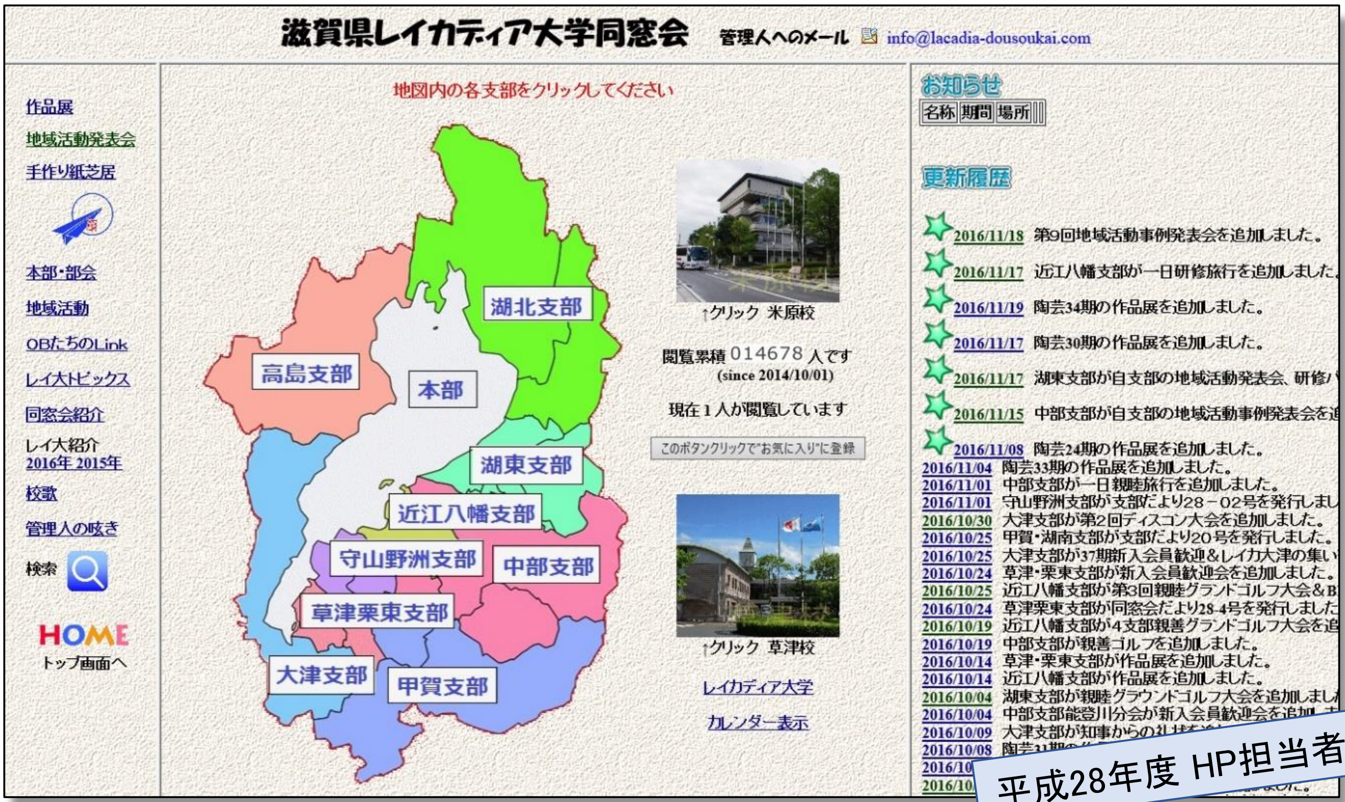
「びわ湖畔の景観を良くする会」「くらし応援サポーター“うさぎのみみ（傾聴活動）”」と、レイ大地域活動体験学習より継続している「みどりの病院ボランティアグループ活動」です。みどりの病院ボランティアグループの活動場所は、近江八幡市立総合医療センターの屋上の4カ所にある庭園の草花管理で入院患者の方や病院に来られた方々の目を楽しませ、大変喜んでいただいています。今年は、医療センター開設１０周年を迎え、私達のボランティアグループは感謝状を頂きました。今後も、この活動に積極的に参加していきたいと思っています。

同窓会ホームページ

2014年秋からスタートしたレイカディア大学同窓会のホームページは皆さまのご協力で３年目に入りました。各支部のＨＰ担当者のご努力で全支部が自力で支部内のページを維持管理していただいています。同窓会の支部内はもちろん、他支部の活動、本部行事などを居ながらにして閲覧できる貴重なツールとして、ぜひ有効に活用していただけたらと思います。パソコン、スマートフォン、タブレットでも閲覧できます。会報や支部だよりなどの紙メディアではかなわない速報性、容量に制限の無い情報、動画などでよりリアルな配信などをお楽しみください。最近は支部のページを自支部内会員に向けた各種連絡、報告などに積極的に利用している支部がいくつか見かけられ、非常に嬉しく思っております。

２年任期の後半に入る本年は次期担当者への引継ぎを真剣に考える必要があります。協力してくださる方があれば、ぜひご連絡をお願いします。

平成28年度ホームページ管理班長　教野弘孝（草津校　32期陶芸）



平成28年度 HP担当者

所管　　区分	氏　名	卒期学科
本部 会長	堀江勇夫	第30期地域文化
本部広報部会長	中山幸夫	第30期地域文化
本部HP管理班長	教野弘孝	第32期陶芸
大　津	中村健一郎	第33期健康レク
草・栗	教野弘孝	第32期陶芸
守・野	小林修二	第33期陶芸
甲・湖	中嶋譲司	第31期陶芸
近江八幡	川村　護	第35期北近江文化
中　部	井上武男	第32期地域文化
湖　東	守野 吉一	第33期園芸
湖　北	中嶋　清	第28期園芸
高　島	楯　進	第35期園芸

http://lacadia-dousoukai.com/

滋賀県レイカディア大学同窓会　検索

レイ大ホームページURL
スマホ、タブレットで読んでください。

（今号は下記の4支部です）

草津・栗東支部

歴史を体験できる宿場町

草津宿と草津川

東海道といえばその昔、江戸と京・大坂を結ぶ日本一の街道。かつて草津は、その東海道五十三次の五十二番目の宿場町として栄えてきました。また、江戸から木曽へとつづく中山道と東海道が交わる宿は全国でもここ草津宿だけ！。「史跡草津宿本陣」は現存するわが国の本陣の中でも最大級の規模を誇り、大福帳（宿帳）には吉良上野介や浅野内匠頭、新撰組の土方歳三など、歴史上の人物がズラリと並んでいます。珍しい天井川として教科書にも載ったこともある草津川も今は新草津川に付け替えられ、旧草津川は廃川となり、来年から「草津川跡地公園」として市民のなごみとして公開されます。レイ大同窓会草津・栗東支部もこの公園の維持管理の一員として働きたいと考えております。

草津宿

東海道と中山道を分ける道標

宿場まつり

草津宿場まつり

毎年、市内外から約８万人を集めるこのまつりのメインイベントは何といっても時代行列。華麗な衣装を身にまとい、風情と歴史のある街を歩く宿場まつりの主役は、観る者の心を釘付けにします。我が草津・栗東支部では地域活動のメインとしてパレード先導、時代行列警備、市役所周辺清掃などいろいろな役でまつりに貢献しています。

守山・野洲支部

勝部の火祭り

約800年前から無病息災を祈念して行われる「勝部の火祭り」大蛇の胴体をもじった、先端に菜種がらを付けた松明１６基が一斉に点火され、その周りを若者たちが下帯一つになって「ごうよ」「ひょうよ」の掛け声とともに乱舞するさまは、大きな松明の火とともに見るもの皆に興奮を呼び起こします。

甲賀・湖南支部

長寿寺

常楽寺、善水寺とともに湖南三山の一つ長寿寺です。天台宗の名刹で紅葉の時期はまさに絶景です！！。住職の奥様の講話は大評判でいつもひっぱりだこです。

高島支部

蓮如上人の御影道中（御下向）

　宗祖親鸞聖人から数えて八世にあたる蓮如上人の北陸での教化のご苦労と、その徳を偲んで吉崎御坊で厳修される御忌法要に、上人の御影を写真の様な厨子に入れ荷車に乗せて、京都の真宗本廟を出発し湖西路を通って福井の吉崎別院までの約２４０ｋｍの道のりを京都・滋賀・福井のお寺や門徒さんの家で休憩をとり、また何ヶ寺かの本堂で宿泊しながら歩いての巡行です、昼間の巡行には沢山の門徒さんが、「蓮如さんのお通り！！」と、声をかけながら随行され御影とともに歩む御仏事として、３００年以上の間、毎年の行事として連綿として続けられています。
　なお帰路については、御上向と称し吉崎御坊を出発し湖東路を通って京都へ向かわれます。

（今津町の湖岸を巡行される御影道中）

（今津町　南浜を通る）

平成28年度同窓会本部役員

役職		氏名	卒期・学科	支部	専門部会
顧　　問		戸之洞 貞夫	20・生活	湖　北	
会　　長		堀江 勇夫	30・地文	中　部	地域活動部会
副会長		松本 寿一	31・園芸	湖　東	総務部会・地域活動部会
副会長		岩田 和彦	32・陶芸	大　津	総務部会・地域活動部会
事務局長		松本 寿一	31・園芸	湖　東	総務部会・地域活動部会
会　　計		森井 幸三	31・地文	甲・湖	広報部会
常任理事	支部長	岩田 和彦	32・陶芸	大　津	総務部会・地域活動部会
		河前 良和	28・園芸	草・栗	研修部会
		中山 幸夫	30・地文	守・野	広報部会長
		森井 幸三	31・地文	甲・湖	広報部会
		荻原 正博	32・陶芸	近江八幡	地域活動部会長・総務部会
		居原田 金治	33・健レク	中　部	総務部会
		藤居 忠治	32・園芸	湖　東	総務部会長・地域活動部会
		大塚 忠夫	30・園芸	湖　北	総務部会
		木津 紀一郎	28・スポレク	高　島	総務部会
	ＨＰ管理班長	教野 弘孝	32・陶芸	草・栗	ホームページ管理班長・地域活動部会
理　事（本部理事）		小野 英明	31・ｽﾎﾟﾚｸ	大　津	広報部会
		福井かおる	34・健レク	大　津	研修部会長・地域活動部会
		大西 隆夫	34・陶芸	草・栗	総務部会
		高野 克男	32・生活	守・野	総務部会
		松田 守生	29・陶芸	守・野	研修部会
		鈴木 勲	21・スポレク	甲・湖	総務部会
		前田 松栄	30・スポレク	甲・湖	研修部会
		長谷部 森彦	32・園芸	近江八幡	広報部会
		瀧本 初子	32・健レク	近江八幡	研修部会
		川原崎 助一郎	33・園芸	中　部	広報部会
		宮田 郁子	33・健レク	中　部	研修部会
		佐々木 豊治	26・スポレク	湖　東	研修部会
		澤　好成	35・園芸	湖　東	広報部会
		中嶋 清	28・園芸	湖　北	広報部会
		近藤　光博	33・園芸	湖　北	研修部会
		木下 納	28・園芸	高　島	広報部会
		江良 幸子	23・陶芸	高　島	研修部会
監　事		國松　功	25・園芸	草・栗	
		辻 純男	30・園芸	近江八幡	
（幹事）		熊越 久仁子	レイカディア担当振興課長		
		瀧本 知佳	レイカディア大学米原校指導員		

平成28年度同窓会本部役員

会長
堀江勇夫

監事会
國松　功
辻　純男

顧問
戸之洞貞夫

副会長
事務局長　松本壽一

副会長
大津支部長　岩田和彦

三役会
堀江勇夫
松本壽一
岩田和彦

会計
甲賀･湖南支部長　森井幸三

常任理事会

会長	副会長	副会長	大津支部長	草津栗東支部長	守山野洲支部長	甲賀湖南支部長	近江八幡支部長	中部支部長	湖東支部長	湖北支部長	高島支部長	HP管理班長
堀江勇夫	松本壽一	岩田和彦	岩田和彦	河前良和	中山幸夫	森井幸三	荻原正博	居原田金治	藤居忠治	大塚忠夫	木津紀一郎	教野弘孝

理事会

会長	副会長	副会長	大津支部	草津栗東支部	守山野洲支部	甲賀湖南支部	近江八幡支部	中部支部	湖東支部	湖北支部	高島支部
堀江勇夫	松本壽一	岩田和彦	小野英明	大西孝夫	高野克男	鈴木　勲	長谷部森彦	川原崎助一郎	佐々木豊治	中嶋　清	木下　幸
			福井かおる	教野弘孝	松田守生	前田松栄	瀧本初子	宮田郁子	澤　好成	近藤光博	江良幸子

総務部会
部会長：藤居忠治

岩田和彦	大塚忠夫
高野克男	木津紀一郎
鈴木　勲	大西隆夫
荻原正博	藤居忠治
居原田金治	
9　名	

幹　事
ｶﾃﾞｨｱ振興課長　熊越久仁
米原校指導員　瀧本千

研修部会
部会長：福井かおる

前田松栄	江良幸子
松田守生	河前良和
瀧本初子	近藤光博
宮田郁子	福井かおる
佐々木豊治	
9　名	

サポート隊調整会議委員

草津校	米原校
岩田和彦	藤居忠治
河前良和	大塚忠夫

広報部会
部会長　中山幸夫　･HP管理班長　教野弘孝

「會報」等編集班	HP管理班	
小野英明	大津支部	中村健一郎
教野弘孝	草津栗東支部	教野弘孝
中山幸夫	守山野洲支部	小林修二
森井幸三	甲賀湖南支部	中嶋譲司
長谷部森彦	近江八幡支部	川村　護
川原崎助一郎	中部支部	井上武男
澤　好成	湖東支部	守野吉一
中嶋　清	湖北支部	中嶋　清
木下　納	高島支部	楯　進
9 名	9 名	

地域活動部会
部会長：荻原正博

堀江勇夫	藤居忠治
教野弘孝	荻原正博
岩田和彦	福井かおる
松本壽一	
7 名	

賀県レイカディア振興運営委員会委
委嘱　　堀江勇夫

滋賀県後期高齢者医療広域連合委員
委嘱　　堀江勇夫

會報33号編集後記

２０１６年同窓会は、２年に一度の役員改選年にあたり、それにより、會報発行の広報部会メンバーは大幅交代となり、新たな視点で取り組みさせていただきました。

１点目は、永年同窓会に在籍され長寿を迎えられた方に、インタビューを試み、昔のレイカディア大学の様子をお聞きし、大学の変遷などについて掲載することができました。

２点目は、新入会員の方々に入会にあたっての思いを、お願いしたところ、多くの方々から投稿をいただきました。今後の同窓会事業活動に活かさせていただきます。

３点目は、従来からの支部だより紹介は、紙面の全面カラー化の特徴をフルに生かすため、多くの写真を掲載して「この一年支部活動紹介」として載せることができました。

４点目は、秋に実施している地域活動事例発表会は、その活動内容を出来るだけ知っていただくよう発表内容を掲載しました。

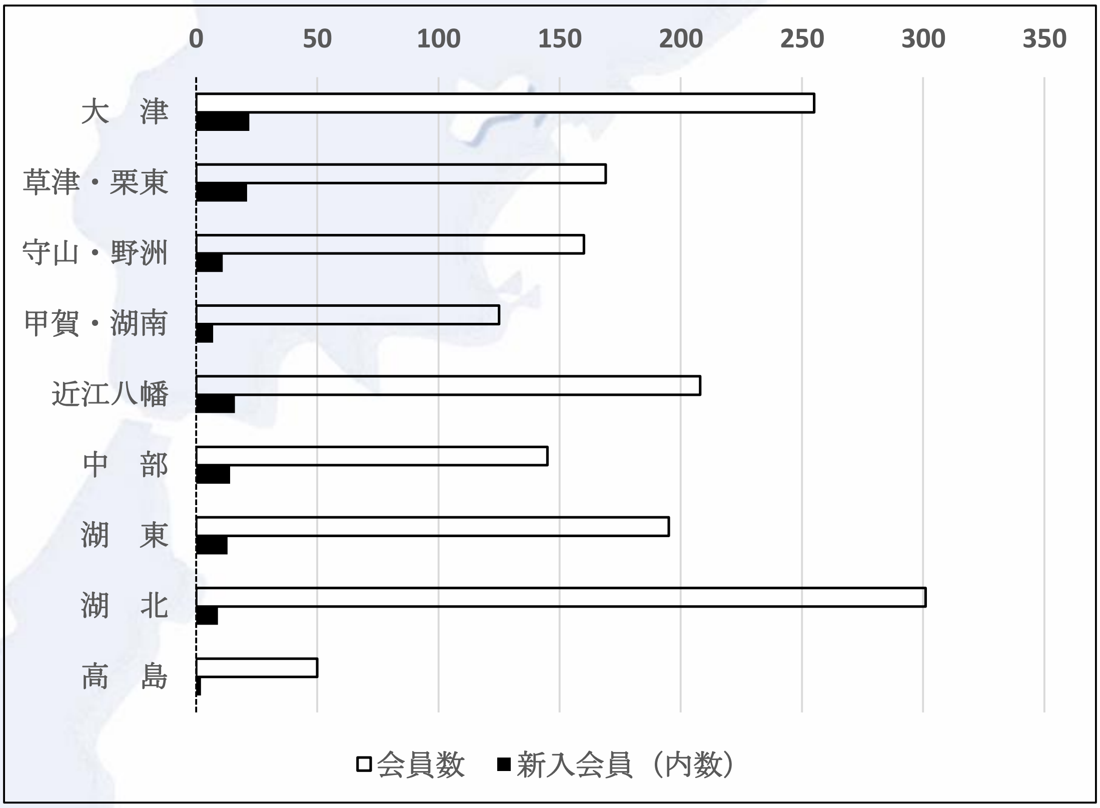
５点目は各支部の歳事記コーナーを３３号と次号３４号の２回に分け、地域の特徴を表す季節の行事や自然現象の記録写真を掲載しました。

最後に、各支部の広報担当委員の協力を得まして、出来るだけ見やすい紙面とするよう努力いたしました。今後も、会員各位のご意見や投稿をお待ちしています。

中山幸夫（広報部会長・守山・野洲）、小野英明（大津）、教野弘孝（草津・栗東）、森井幸三（甲賀・湖南）、長谷部森彦（近江八幡）、川原崎助一郎（中部）、澤好成（湖東）、中嶋清（湖北）、木下納（高島）

平成28年度 10月末現在　会員数

支部名	会員数	新入会員（内数）
大　津	255	22
草津・栗東	169	21
守山・野洲	160	11
甲賀・湖南	125	7
近江八幡	208	16
中　部	145	14
湖　東	195	13
湖　北	301	9
高　島	50	2
合　計	1608	115



草津校

米原校

滋賀県レイカディア大学同窓会
「會報」第33号

発行：平成29年1月1日
編集：滋賀県レイカディア大学同窓会
同窓会事務局
（滋賀県レイカディア大学本部）
〒525-0072　草津市笠山町七丁目8-138
TEL 077-567-3939